

# 総合保健体育科学センター年報

## 第39号

2016

名古屋大学総合保健体育科学センター

THE ANNUAL REPORT  
OF  
THE RESEARCH CENTER OF HEALTH,  
PHYSICAL FITNESS AND SPORTS  
NAGOYA UNIVERSITY

2016  
(Volume 39)

# 目 次

## 保健管理業務

1. 平成28年度の保健管理活動について .....	1
2. 学生の健康診断 .....	4
1) 定期健康診断 .....	5
I. 定期健康診断（春期） .....	5
II. 定期健康診断（秋期） .....	6
III. 精密検査・再検査 .....	7
3) 特殊健康診断 .....	14
I. 放射線同位元素等を取り扱う実験・実習に従事する学生 .....	15
II. 有害物質を取り扱う実験・実習に従事する学生 .....	21
3. 職員の健康診断 .....	25
1) 一般定期健康診断 .....	25
2) 特殊健康診断 .....	29
3) 保健指導 .....	30
4. 健康相談と応急処置（学生・職員） .....	36
5. 精神健康（メンタルヘルス）相談業務 .....	40
6. 運動実施のためのメディカルチェック .....	42
7. 感染症検査 .....	42
8. 平成28年度産業医名簿 .....	43

## 保健体育の事業

1. 「健康への道」の発行 .....	45
2. 総合保健体育科学センター主管の行事 .....	46

## 「健康・スポーツ科学」の授業

1. ねらいと授業科目 .....	47
2. 授業形態 .....	47
3. 「講義」について .....	48
4. 「実習」について .....	48
5. 「実習」の非常勤講師 .....	49

## そ の 他

庶務関係事項 .....	53
1) 人事異動 .....	53
平成28年度 各種委員会委員名簿（学内） .....	54
平成28年度 各種委員会委員名簿（センター内） .....	56
2) 外国出張及び海外研修旅行 .....	57
あ と が き .....	58

# 保 健 管 理 業 務



# 1. 平成28年度の保健管理活動について

主な保健管理活動は、保健管理業務と健康教育に大別される。

保健管理業務には、各種の健康診断、心身の健康相談、その他の業務がある。健康診断については、学生の一般健康診断と胸部X線撮影を平成22年度よりデジタル化し、作業を省力化・効率化できている。異常のない学生の健康診断証明書を受診3日後に発行でき、胸部X線写真の経過を追うことも容易である。今年度から、秋入学の留学生を主な対象とする秋季健診においても、尿検査などが異常であった場合の精密検査を実施することとした。医学部では、学生の病院実習だけでなく見学を含む受け入れが厳しくなり、胸部X線や感染症を含む健康診断結果が必要となり、入学時にワクチン接種歴と各種ウイルス抗体価を報告することになった。また、留学生数の増加に対応して、通知等の英文化や日程調整により、健康診断の100%受診のため努力している。学生登録はされているが海外教育拠点（海外キャンパス）で学ぶ留学生に対しては、滞在期間が数日間で、その時期も様々であり、担当事務も複雑なため、現在健康診断を実施できていない。

健康相談のうち、身体健康分野は従来どおり5名の内科医師が診療を担当している。うち1名は任期付きの特任講師である。メンタルヘルス分野は、保健管理室の精神科医1名、学生相談総合センターの精神科医師3名（10月より1名増）、国際教育交流センター・アドバイジング部門の精神科医師1名が協力して担当しているものの、受診希望者の増加に頭を痛めている。応急処置業務については、日常業務のほか、ホームカミングデイなどの全学行事、センター試験、入学試験などの救護班も担当している。また、麻疹、風疹、百日咳などの感染症啓蒙活動にも力を注いでいる。なお、保健管理室の内科医師5名のうち3名、精神科医師1名が常勤ポストであるが、今般の学内事情により常勤ポストさえも削減の危機に曝されている。万が一、医師削減に至れば、これまでの業務の維持は困難極まりない状況に至る。

健康教育については、全学教育の一環として、新入生を対象とする「健康・スポーツ科学講義」を担当し、身体・精神健康についての講義を行い、保健、体育の各分野の必須内容については共通の冊子を作成し、受講者へ便宜を図っている。また、G30の学生を対象とする保健の講義を開講して、留学生教育に貢献している。保健管理業務を担っている医師全員は医学系研究科健康増進医学講座（協力講座）に属し、後進の育成に貢献している。また、今年度から新たな取組みとして、留学生健康教室を実施したほか、新入教職員のための安全・衛生・防災講習会の講師を務めた。

教職員については安衛法の下で健康管理が行われている。これらは職員課福祉係が立案し、事務的手続きは職員課および各部局の担当者が行い、健診業務の多くを外部委託としているものの、実務的運営と実施は保健管理室が行っている。平成24年度に、学生の健診データ収集システム（デジタル化）の一部を利用し、作業を省力化・効率化できた。平成26年度からは、一般定期健康診断結果がWEB閲覧となった。本年度からは、検診車による胸部X線撮影がデジタル直接撮影となった。東山キャンパスの産業医として保健管理室の医師全員が登録され、各建物の巡視のほか、海外渡航前後の健診・保健指導や疾病管理面接等を随時行っている。精神科疾患による長期休職者の復職へ向けて、指導と職場との調整を行っている。ストレスチェック制度が平成27年12月1日に施行されたことに対応して、今年度第1回目のストレスチェックをWEBにより実施した。

今後も、学生については教育企画課および学生支援課、教職員については職員課と密接な連携のもと、効率のよいた確な健康管理を行うべく努力したい。学内構成員の皆様には、保健管理室の現状と問題点をご理解いただき、さらなるご支援を切望するものである。

石 黒 洋

保健管理室年間行事表（定期に行われるものに限る）

	行 事	内 容	対 象 者 等
4月	学生定期健康診断（春期）	胸部X線検査、尿検査、血圧検査、視力検査、身体測定、 会話域聴力、栄養状態、視診、問診、健康調査、 聴診（1年生のみ）	学部生、大学院生、研究生等
5月	学生定期健康診断（春期）の 再検査・精密検査 学生特殊健康診断 学生放射線取り扱い者の調査	尿、胸部X線（診察）、心臓、血圧、栄養、貧血、甲状腺、 肝臓等の検査 皮膚検査、眼の検査、血液検査 書類調査後、特殊健康診断要・不要判定	健康診断（春期）の要再検査の学生、 要精密検査者および前年度要観察者以上の学生 R I 従事する学生（6月～7月新規従事者） R I 従事する学生（継続従事者）
6月	職員一般（定期・特定）健康診断	胸部X線検査、尿検査、血圧検査、視力検査、身体測定、 会話域聴力、問診 心電図検査、血液検査、腹囲測定 聴力検査（1000・4000Hz）	全職員  内35歳と40歳以上の職員 内35歳と40歳と45歳以上の職員
7月	職員一般（定期・特定）健康診断 学生特殊健康診断  職員特殊健康診断	6月一般健康診断に準ずる 皮膚検査、眼の検査、血液検査  血液検査、皮膚検査、眼の検査 血液検査、皮膚検査、眼の検査、口腔検査、血圧検査、 尿検査、胸部X線検査	全職員 R I 従事する学生（8月～10月新規従事者）、 R I 従事者の内、受診の指示があった学生 R I 従事者の内、受診の指示があった職員 有害業務に従事する職員
8月	学生特殊健康診断 職員一般健康診断後の経過観察 オープンキャンパスの救護	皮膚検査、眼の検査、血液検査 胸部X線検査 必要に応じた応急処置	R I 従事する医学部医学科学生 一般健康診断で検査対象となる職員、 学生、職員および一般来客者
9月	学生有害物質取り扱い者の調査 職員保健指導	書類調査後、特殊健康診断要・不要判定 保健指導	有害物質等に従事する学生 一般健康診断後指導対象となる職員
10月	学生特殊健康診断  ホームカミングディの救護 学生定期健康診断（秋期） 学生定期健康診断の精密検査	皮膚検査、眼の検査、血液検査 血液検査、尿検査、皮膚検査、眼の検査、視診等 必要に応じた応急処置 4月の定期に準ずる 胸部X線検査	R I 従事する学生（11月～12月新規従事者） 有害物質従事者の内、受診の指示があった学生 学生、職員および一般来訪者 後期（10月）入学生、5月以降来日した留学生 健康診断（春期）の要観察D2以上の学生
11月	学生定期健康診断（秋期）の 再検査・精密検査 ストレスチェック面接指導 学生定期健康診断（春期未受診者）	尿、胸部X線（診察）、心臓、血圧、貧血、甲状腺、肝臓 の検査 診察 4月の定期に準ずる	健康診断（秋期）の要再検査、要精密検査の 学生 ストレスチェック受検結果、面談の希望した職員 定期健康診断（春期）未受検の学部1年生、 特殊健康診断対象学生
12月	学生特殊健康診断 職員一般（定期・特定）健康診断 職員特殊健康診断	皮膚検査、眼の検査、血液検査 職員一般（定期・特定）健康診断に同じ 職員特殊健康診断に同じ	R I 従事する学生（1月～6月新規従事者） 特定業務に従事する職員、7月未受診の職員 R I 従事者の内、受診の指示があった職員、 有害業務に従事する職員
1月	センター試験救護 職員一般健康診断後の経過観察	必要に応じた応急処置 胸部X線検査	センター試験受験者 一般健康診断で検査対象となる職員、 半年毎経過観察の職員
2月	大学入学試験救護 職員保健指導	必要に応じた応急処置 保健指導	大学入学試験受験者 一般健康診断後指導対象となる職員
3月	学生定期健康診断  学生定期健康診断の精密検査	4月の定期に準ずる  4月の定期、5月の精密検査に準ずる	医学部学生（次年度対象者） 学務部指定の教育実習予定学生（次年度対象者） 定期健康診断の要観察以上の学生 （次年度対象者）
年次	職員の雇入時健康診断および 海外派遣労働者健康診断  職員の長時間労働者への面談 職員の復職者面談 職員健康診断後の相談 生活指導 東海・北陸地区国立大学法人等職員 採用試験 大学レクチャー（高等研究院） 大学院入試の救護 スポーツのためのメディカルチェック	胸部X線検査、尿検査、血圧検査、視力検査、身体測定、 腹囲測定、聴力検査（1000・4000Hz）、心電図検査、 血液検査、診察 診察、問診および指導 診察 診察 経過観察（必要に応じた診察・検査） 必要に応じた応急処置  必要に応じた応急処置 必要に応じた応急処置 必要に応じた健康診断	採用予定者 6ヶ月以上の海外出張の職員  職員 職員 健康診断結果で相談したい職員 定期健康診断で要観察以上の学生 職員採用試験受験者  学生、職員および一般来訪者 大学院入学試験受験者 体育会運動部(大学公認サークル) 加入学生

（注）健康相談、応急処置、精神相談は年中実施



健康管理対象者数の年次推移

年度	学 生 数 (春) (女子：内数)		健康診断 受診者	健康診断 春受診率	学 生 数 (年間) (春在籍重複：内数)		健康診断 受診者	健康診断 受診率	健康相談数 (学生・職員)	
	一般相談	精神相談								
H28	15,852	(4,708)	11,973	75.5%	16,100	(55)	12,177	75.9%	1,670	2,207
H27	15,792	(4,622)	11,981	75.9%	16,036	(61)	12,180	76.2%	1,933	1,788
H26	15,928	(4,630)	12,117	76.1%	16,105	(36)	12,299	76.5%	1,791	1,948
H25	15,973	(4,644)	12,267	76.8%	16,148	(26)	12,446	77.2%	1,977	2,075
H24	15,895	(4,720)	12,030	75.7%	16,073	(28)	12,211	76.1%	2,100	2,437
H23	15,948	(4,819)	12,033	75.5%	16,109	(27)	12,203	75.9%	2,459	2,634
H22	15,854	(4,823)	11,758	74.2%	15,961	(30)	11,917	74.8%	2,222	2,659
H21	15,689	(4,784)	11,412	72.7%	* 平成22年：後期入学者も全員開始、秋 期健康診断に名称変更 * 平成23年：G30学生開始				2,175	2,418
H20	15,682	(4,718)	11,594	73.9%					2,307	2,251
H19	15,794	(4,742)	11,368	72.0%					2,212	2,278
H18	15,894	(4,718)	11,295	71.1%					2,735	2,450
H17	15,844	(4,663)	11,159	70.4%					2,147	2,170

年度	学 生 数 (春) (女子：内数)		健康診断 受診者	健康診断 受診率	一般相談 (学生)	精神相談 (学生・職員)
H16	15,811	(4,681)	11,598	73.4%	2,033	1,942
H15	15,784	(4,679)	11,287	71.5%	2,687	1,900
H14	15,741	(4,578)	11,195	71.1%	2,686	1,820
H13	15,760	(4,394)	11,591	73.5%	2,500	1,462
H12	15,554	(4,135)	11,214	72.1%	2,654	945
H11	15,414	(3,775)	10,937	71.0%	2,477	860
H10	15,157	(3,413)	11,216	74.0%	2,753	718
H 9	14,996	(3,135)	11,570	77.2%	2,875	579
H 8	14,752	(3,043)	12,140	82.3%	2,890	483
H 7	14,388	(2,909)	12,063	83.8%	2,473	434
H 6	13,712	(3,273)	11,459	83.6%	2,595	425
H 5	13,302	(3,101)	10,648	80.0%	2,763	406
H 4	12,691	(2,761)	9,842	77.6%	3,128	415
H 3	12,183	(2,581)	9,270	76.1%	2,422	313
H 2 1990	11,789	(2,431)	8,718	74.0%	2,441	221
S 60 1985	9,637	(1,711)	7,038	73.0%	3,338	204
S 55 1980	8,876	(1,131)	6,748	76.0%	2,325	162
S 50 1975	8,539		5,707	66.8%	1,298	271

学生数および健康診断数：学部生・研究科生（研究生など含まず）

一般健康相談は平成16年度までは学生のみ以下職員を含む

年間受診率は春秋共に在籍し、身分の変わった重複者は除く（秋の健康診断対象外）

## 2. 学生の健康診断

平成28年度 学生の健康診断実施表

定期健康診断（春期）							
	検査項目	検査内容	受診対象者	実施時期			
一 次 健 診	1	視力検査・会話域聴力	—視力計, 問診	学部学生 大学院学生 研究生等	医学科5～6年生, M2, D2～D4 保健学科2～4年生, M2, D2, D3  3月3日(木) 4日(金)  2年生以上学部生, 大学院生, 研究生 4月11日(月) ～22日(金)		
	2	尿検査(蛋白・潜血・糖)					
	3	胸部X線検査 ※1	—直接(間接)撮影				
	4	身体計測(身長・体重)					
	5	血圧検査	—血圧測定				
	6	栄養(肥満・るい瘦)	—BMI法				
	7	貧血・肝臓・甲状腺検査	—視診・触診				
	8	健康(自覚症状)個人調査	—調査書			※1 (新入生・医学生・希望者)	1年生
	9	心音検査 ※2	—聴診			※2 (学部1年生のみ)	4月25日(月) ～27日(水)
再 ・ 精 密 検 査	1	尿検査(蛋白・潜血・糖)	*—血液・尿検査	一次健診で要再検となった者 要精検となった者  * (前年度健康診断の結果 指導区分D-2以上の者 も加える)	5月2日(月) ～5月31日(火)  ※3 第2回目 10月下旬		
	2	胸部X線検査	*—診察(直接撮影) ※3				
	3	血圧検査	—血液・心電図				
	4	栄養(肥満・るい瘦)	*—血液・体脂肪				
	5	貧血・肝臓・甲状腺検査	*—血液				
	6	心音検査	*—心電図				
	7	健康個人調査	—面接				
定期健康診断（秋期）							
一 次 健 診	1 定期健康診断(春期)と同じ		10月入学生(4月時在籍者除く) 5月以降来日した留学生	10月20日(木) 21日(金)			
			4月健診未受診の学部1年生	11月1日(火)			
再・精密検査(春期項目1.2.3.5.6.7と同じ)			10月入学生・5月以降の留学生	10月～11月中旬			
特殊健康診断（定期健康診断を必ず受診すること）							
検 査 項 目	1	血液の検査	—血算	放射性同位元素等を取り扱う実験・ 実習に従事する者	1. 5/9～5/12 2. 6/30～7/1 3. 10/12～10/13 4. 12/1～12/2		
	2	皮膚の検査	—皮膚科医の診察				
	3	眼の検査	—眼科医の診察(白内障)				
	4	問診	—健康診断に関する調査書				
目	1	有害物質取扱調査	—取扱に関する調査書	有害物質等を取り扱う実験・実習 に従事する者	10/12～10/13		
	2	検査	—診察(眼・皮膚・内科)・ 血液・尿				

\* 特殊健康診断は定期健康診断を受けてない方は受診できません。(今年度は未受検者に秋にも健診を受けるようにしています)

## 1) 定期健康診断（春期）

### a. 実施状況（表1）

定期健康診断は、4月（春期）、10月（秋期）の2回実施した。実施項目は、感染症と生活習慣病に重点を置いたもので、肺結核だけでなく、心、腎、肝疾患、高血圧、内分泌代謝疾患（糖尿病、肥満、るい瘦、甲状腺腫）および貧血と多岐にわたっている。一次健診とその精密検査を行い、受診者全員が健診終了時に医師から直接説明を受け、後にその結果を受け取るシステムになっている。健診の実施場所は全て、保健管理室である。

なお、一次健診に実地した精密検査・再検査の結果は各項目を参照されたい。

### I. 定期健康診断（春期）

在籍学生全員に実施している。病院実習生（一部教育実習）については、実習前健診として対応できるよう3月にも健診日程をもうけている。

### 平成28年度 定期健康診断（春期） 受診結果

学部・研究科	対象者数（5.1在籍者）			受診者数			受診率 %	対象外（非正規生）	
	学部	研究科	計	学部	研究科	計		対象者数	受診者数
文学部・文学研究科	601	260	861	476	145	621	72.1	59	24
教育学部・教育発達科学研究科	315	242	557	252	134	386	69.3	45	13
法学部・法学研究科	684	151	835	520	77	597	71.5	98	27
経済学部・経済学研究科	940	126	1,066	696	63	759	71.2	28	17
情報文化学部	371		371	265		265	71.4	8	4
理学部・理学研究科	1,213	575	1,788	1,045	503	1,548	86.6	31	10
医学部・医学系研究科 医学	684	796	1,480	424	147	571	38.6	74	3
保健学	872	206	1,078	851	104	955	88.6	4	0
工学部・工学研究科	3,416	1,627	5,043	2,721	1,459	4,180	82.9	71	36
農学部・生命農学研究科	748	419	1,167	632	350	982	84.1	9	2
国際開発研究科		282	282		179	179	63.5	17	12
多元数理科学研究科		162	162		111	111	68.5	6	1
国際言語文化研究科		199	199		157	157	78.9	35	28
環境学研究科		419	419		298	298	71.1	13	10
情報科学研究科		352	352		256	256	72.7	14	2
創薬科学研究科		85	85		79	79	92.9	1	1
法科大学院・専門職学位課程		106	106		29	29	27.4	—	—
国際言語センター	—	—	—	—	—	—	—	0	
国際教育交流センター	—	—	—	—	—	—	—	42	42
その他		1	1		0	0	0.0	6	3
特別研究員							—	75	47
合計	9,844	6,008	15,852	7,882	4,091	11,973	75.5	636	282

## II. 定期健康診断（秋期）

5月以降に渡日した留学生・後期入学生（4月末現在で名古屋大学に籍のあった学生は除く）および学部1年生・特殊健康診断対象者で今年度4月の健康診断未受診の学生に対して、健康診断を実施している。G30を含む秋入学生の受け入れは増えており、対象者は年々増加している。

### 平成28年度 定期健康診断 受診結果

学部・研究科	後期入学生・留学生					4月健診未受診者				28年度 受診率 (正規生)
	正規生		受診率 %	対象外(非正規生)		受診者数			対象外 (内数)	
	対象者数	受診者数		対象者数	受診者数	1年生	特殊	他院		
文学部・文学研究科	8	7	87.5	65	49			1	(0)	72.4
教育学部・教育発達科学研究科	0			19	11			3	(0)	69.8
法学部・法学研究科	42	26	61.9	42	34			5	(0)	71.6
経済学部・経済学研究科	18	14	77.8	38	30				(0)	71.3
情報文化学部	0			16	16		1	1	(1)	71.7
理学部・理学研究科	21	18	85.7	21	14		6	8	(2)	87.2
医学部・医学系研究科 医学	29	19	65.5	16	6		6	300	(9)	58.8
保健学	0			3	1			7	(0)	89.2
工学部・工学研究科	55	40	72.7	86	68		17	24	(6)	83.5
農学部・生命農学研究科	20	11	55.0	9	4		10	11	(2)	85.3
国際開発研究科	12	6	50.0	31	25	—		9	(5)	64.3
多元数理科学研究科	2	2	100.0	1	0	—			(0)	68.9
国際言語文化研究科	9	4	44.4	26	23	—		6	(0)	80.3
環境学研究科	29	14	48.3	11	9	—	2	10	(0)	72.3
情報科学研究科	3	1	33.3	12	8	—		5	(4)	72.7
創薬科学研究科	0			2	1	—		1	(1)	92.9
法科大学院・専門職学位課程	—	—	—	—	—	—			(0)	27.4
国際言語センター	—	—	—	0		—			(0)	—
国際教育交流センター	—	—	—	19	19	—			(0)	—
その他	—	—	—	4	4	—			(0)	0.0
合計	248	162	65.3	421	322	0	42	391	(30)	77.9

\*対象者の内60名は春期にも当大学の学生

### Ⅲ. 精密検査・再検査

胸部X線検査：直接撮影を実施した。第1回（春期）で異常を疑われた学生および前年度からの要観察者（D-2以上）を対象に診察を実施した。

第2回（秋期）では異常を疑われた学生については診察を行った。春期の検査にて要観察（年2回受診）と判定した学生に対しては直接撮影を実施し、要医療（医療機関に通院中）の学生については診察を行った。

尿 検 査：尿検査機器にて蛋白・潜血・糖の項目を検査し、複合試験紙を用い再検査し、さらに陽性の学生に精密検査を行った。

一次検査・再検査で蛋白・潜血・糖それぞれが「+」以上の学生を陽性とした。

血 圧 検 査：自動血圧計を用い座位で測定し、収縮期血圧（SBP）140mmHg以上もしくは拡張期血圧（DBP）90mmHg以上を再検査対象としている。再検査は5分間安静後、自動血圧計あるいは、仰臥位で測定および指導を行い、SBP160mmHg以上もしくはDBP95mmHg以上に精密検査を行った。

心 臓 検 査：原則として学部新1年生に心音検査を行い心雑音等が聴取された学生に対して心電図検査を行った。また従来からの要観察者（D-2以上）、胸部X線検査で心精検と判定された学生に対しても同様に心電図検査を実施した。

栄 養：BMI（Body Mass Index, 体重(kg) ÷ [身長(m)]<sup>2</sup>）が15以下をるい瘦・30以上を肥満とし希望した学生に精密検査を行った。ただし学部1年生の肥満対象者は必須とした。

問診、視診および触診で貧血・甲状腺・肝臓疾患の疑いのある学生に精密検査を行った。

今年度より、秋期健診において栄養以外の項目について精密検査を行うようにした。

項目	再 検 査		精 密 検 査 内 容	
	内 容	結 果		
尿	蛋白・潜血	陽 性	検 尿	沈査
	糖	陽 性	採 血	空腹時血糖・グリコヘモグロビンA1c
血 圧	座位・自動血圧計 ↓ 仰臥位・水銀血圧計	SBP160以上 もしくは DBP95以上	心電図	

項目	精 密 検 査 内 容	
肥 満	計 測	体脂肪率（インピーダンス法）、腹囲測定（臍の高さ）
	採 血	総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、中性脂肪、GOT、GPT、 γ-GTP、尿酸、インスリン、空腹時血糖 （ただし新規でこの検査を受診する学生はグリコヘモグロビンA1cも）
るい瘦	採 血	診察後の指示
貧 血	採 血	赤血球、白血球、Hb、Ht、PLT、血液像
甲状腺	採 血	診察後の指示
肝 臓	採 血	総ビリルビン、GOT、GPT、ALP、LDH、HBs抗原、HCV抗体

判定区分は以下のように生活規制，医療の両面を考慮して決定した。

## 判定区分

### 1. 生活規制面からの区分

#### 記号

- A. (要休業) 授業を休む必要のあるもの
- B. (要軽業) 授業制限を加える必要のあるもの
- C. (要注意) 授業をほぼ平常に行ってよいもの
- D. (健康) 全く正常の生活でよいもの

### 2. 医療面からの区分

#### 記号

- 1. (要医療) 医師による直接の医療行為を必要とするもの
- 2. (要観察) 医師による直接の医療行為を必要としないが，定期的に医師の観察指導を必要とするもの
- 3. (健康) 医師による直接，間接の医療行為を全く必要としないもの

注：学校保健安全法施行規則別表第一による。

再検査，精密検査を受けた結果，生活指導を要する者については，医師が直接指導した。

また，精密検査項目以外の通院中の学生および障がいのある学生22名に対して状況確認した。

## 平成28年度 胸部X線 精密検査結果

学部・研究科	有所見 判定数	第 1 回							心 精 検 へ	第 2 回					心 精 検 へ	
		対象 者数	判 定 区 分				未 受 検	対象 者数		判 定 区 分				未 受 検		
			D-3	D-2	D-1	A-1				D-3	D-2	D-1	A-1			
文 学 部	12	0							0							
教 育 学 部	5	2	1	1					0							
法 学 部	9	1		1					0							
経 済 学 部	11	5	1	3	1				1			1				
情 報 文 化 学 部	6	2	2					1	0							
理 学 部	15	4	1	2	1			1	3	2	1					
医 学 部	医学専攻	18	5	3	1	1			0							
	保健専攻	33	3	2	1			1	1		1					
工 学 部	51	18	9	7	2		1	5	7	5	2					
農 学 部	15	4	3	1					0							
文 学 研 究 科	1	0							0							
教育発達科学研究科	3	4	1	2	1				2			2			1	
法 学 研 究 科	2	4	1	3					0							
経 済 学 研 究 科	4	0							0							
理 学 研 究 科	8	4	4						0							
医 学 系 研 究 科	医学専攻	7	3	1		2		1	0							
	保健専攻	11	1	1					0							
工 学 研 究 科	28	17	9	6	2			2	2	1		1				
生命農学研究科	14	5	1	3	1				2		1	1				
国際開発研究科	3	3	1	1	1				0							
多元数理科学研究科	4	0							0							
国際言語文化研究科	5	1		1					1		1					
環 境 学 研 究 科	6	4	1	2	1				1		1					
情 報 科 学 研 究 科	8	1	1					3	0							
創 薬 科 学 研 究 科	0	0							0							
法・専門職学位課程	0	0							0							
そ の 他	1	0							0							
春 期 学 部 研 究 科	学部	175	44	22	17	5	0	2	7	12	7	4	1	0	0	0
	研究科	105	47	21	18	8	0	3	3	8	1	3	4	0	0	1
秋 期 学 部 ・ 研 究 生	21	3		2	1				—	—	—	—	—	—	—	
合 計	301	94	43	37	14	0	5	10	20	8	7	5	0	0	1	

平成28年度 腎臓（尿蛋白・潜血） 再検査検査結果

学部・研究科	蛋白再検査				潜血再検査			
	対象者数	異常なし	要精検	未受検	対象者数	異常なし	要精検	未受検
文学部	28	17	4	7	10	5	2	3
教育学部	8	4	1	3	3	2	1	0
法学部	29	20	3	6	5	2	1	2
経済学部	43	29	4	10	10	7	3	0
情報文化学部	17	13	2	2	5	1	2	2
理学部	72	50	5	17	14	7	4	3
医学部	26	19	3	4	5	0	3	2
医学部	46	32	6	8	8	0	7	1
工学部	142	98	16	28	37	12	19	6
農学部	24	12	6	6	8	4	4	0
文学研究科	4	2	1	1	3	1	0	2
教育発達科学研究科	5	3	1	1	1	1	0	0
法学研究科	2	1	0	1	7	5	0	2
経済学研究科	2	1	0	1	1	1	0	0
理学研究科	22	15	2	5	5	3	2	0
医学系	5	2	1	2	0	0	0	0
研究科	5	5	0	0	2	2	0	0
工学研究科	68	53	6	9	23	8	12	3
生命農学研究科	8	6	2	0	6	4	1	1
国際開発研究科	7	5	0	2	8	6	1	1
多元数理科学研究科	8	6	0	2	0	0	0	0
国際言語文化研究科	9	4	2	3	7	6	0	1
環境学研究科	13	7	3	3	4	0	3	1
情報科学研究科	13	11	1	1	2	1	1	0
創薬科学研究科	4	4	0	0	1	1	0	0
法・専門職学位課程	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	6	5	1	0
春期	435	294	50	91	105	40	46	19
研究科	176	126	19	31	76	44	21	11
秋期	32	26	1	5	32	24	3	5
合計	643	446	70	127	213	108	70	35

平成28年度 腎臓 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考
		D-3	D-2	D-1		
文学部	4	1	2	1		
教育学部	1		1			
法学部	4	3	1			
経済学部	7	1	6			
情報文化学部	3			3		
理学部	7	2	2	3		
医学部	3		1	2		
医学部	9	2	4	3		
工学部	22	3	12	7		
農学部	6	3	2	1		
文学研究科	1	1				
教育発達科学研究科	1			1		
法学研究科	0					
経済学研究科	0					
理学研究科	2		1	1		
医学系	1	1				
研究科	1				1	
工学研究科	16	7	4	3	2	
生命農学研究科	3	1	1	1		
国際開発研究科	1			1		
多元数理科学研究科	0					
国際言語文化研究科	2	1		1		
環境学研究科	4	1	1	2		
情報科学研究科	1			1		
創薬科学研究科	0					
法・専門職学位課程	0					
その他	1	1				
春期	66	15	31	20	0	1名：通院中
研究科	34	13	7	11	3	1名：通院中
秋期	4	1	3	0	0	
合計	104	29	41	31	3	他5名：通院中

平成28年度 尿糖 再検査・精密検査結果

学部・研究科	再 検 査				精 密 検 査 の 判 定 区 分				備 考
	対象者数	異常なし	要精検	未受検	D-3	D-2	D-1	未受検	
文 学 部	3	2	0	1					
教 育 学 部	1		1				1		
法 学 部	2		2			1	1		
経 済 学 部	1		1				1		
情 報 文 化 学 部	1	1	0						
理 学 部	10	8	1	1		1			
医 学 部	3		1	2			1		
保健学科	5	2	3				3		
工 学 部	11	5	4	2	1	1	2		
農 学 部	1	1	0						
文 学 研 究 科	2	2	0						
教育発達科学研究科	2	1	1				1		
法 学 研 究 科	0		0						
経 済 学 研 究 科	1		1				1		
理 学 研 究 科	8	5	1	2			1		
医学系 医学専攻	0		0						
研究科 保健学専攻	0		0						
工 学 研 究 科	7	5	2		1		1		
生命農学研究科	3	1	2				2		
国際開発研究科	0		0						
多元数理科学研究科	0		0						
国際言語文化研究科	0		0						
環 境 学 研 究 科	1	1	0						
情 報 科 学 研 究 科	1		1				1		
創 薬 科 学 研 究 科	0		0						
法・専門職学位課程	0		0						
そ の 他	0		0						
春期 学 部	38	19	13	6	1	3	9	0	8名：通院中
研 究 科	25	15	8	2	1	0	7	0	7名：通院中
秋期 学部・研究生	1		0	1					
合 計	64	34	21	9	2	3	16	0	他2名：通院中

平成28年度 血圧 再検査・精密検査結果

学部・研究科	再 検 査				精 密 検 査 の 判 定 区 分				備 考
	対象者数	異常なし	要精検	未受検	D-3	D-2	D-1	未受検	
文 学 部	6	6	0						
教 育 学 部	0		0						
法 学 部	5	5	0						
経 済 学 部	3	2	1					1	
情 報 文 化 学 部	0		0						
理 学 部	8	6	1	1					1
医 学 部	8	7	0	1					
保健学科	1	1	0						
工 学 部	29	26	2	1		1		1	
農 学 部	6	6	0						
文 学 研 究 科	2	2	0						
教育発達科学研究科	3	1	1	1		1			
法 学 研 究 科	2	2	0						
経 済 学 研 究 科	2	2	0						
理 学 研 究 科	9	7	0	2					
医学系 医学専攻	6	6	0						
研究科 保健学専攻	0		0						
工 学 研 究 科	23	22	1				1		
生命農学研究科	0		0						
国際開発研究科	7	6	1				1		
多元数理科学研究科	2	2	0						
国際言語文化研究科	3	2	1				1		
環 境 学 研 究 科	9	8	1				1		
情 報 科 学 研 究 科	2	2	0						
創 薬 科 学 研 究 科	2	2	0						
法・専門職学位課程	1		0	1					
そ の 他	1		0						
春期 学 部	66	59	4	3	0	1	0	3	
研 究 科	74	65	5	4	0	1	4	0	4名：通院中
秋期 学部・研究生	3		3			2	1		
合 計	143	124	12	7	0	4	5	3	他1名：通院中



平成28年度 心臓 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考
		D-3	D-2	D-1		
文学部	4	2	2			
教育学部	2	1			1	
法学部	4	1	1		2	
経済学部	2		1	1		
情報文化学部	3		1	2		
理学部	6	2		3	1	
医学部	3	1	1		1	
保健学科	3	2	1			
工学部	20	13	3	3	1	
農学部	4	1	1	2		
文学研究科	0					
教育発達科学研究科	1			1		
法学研究科	1			1		
経済学研究科	0					
理学研究科	1			1		
医学系	1	1				
医学専攻	1	1				
保健学専攻	1					
工学研究科	8	3	1	4		
生命農学研究科	0					
国際開発研究科	0					
多元数理科学研究科	0					
国際言語文化研究科	0					
環境学研究科	0					
情報科学研究科	0					
創薬科学研究科	0					
法・専門職学位課程	0					
その他	0					
春期	51	23	11	11	6	11名：通院中
学部	13	5	1	7	0	7名：通院中
研究科	3	3				
秋期	3	3				
学部・研究生	3	3				
合計	67	31	12	18	6	他：7名通院中

平成28年度 肥満 (BMI 30 以上) 精密検査結果

30以上：163名

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考
		D-3	D-2	D-1		
文学部	3		3			
教育学部	1		1			
法学部	6	1	2	2	1	
経済学部	5	1	3		1	
情報文化学部	0					
理学部	13	3	6	2	2	
医学部	3			1	2	
保健学科	0					
工学部	27	7	13	1	6	
農学部	6	2	3		1	
文学研究科	2		1		1	
教育発達科学研究科	1		1			
法学研究科	1		1			
経済学研究科	2	1		1		
理学研究科	11	1	6	1	3	
医学系	3		2		1	
医学専攻	3		2		1	
保健学専攻	0					
工学研究科	26	8	14	1	3	
生命農学研究科	4	2	1		1	
国際開発研究科	6	1	3		2	
多元数理科学研究科	1		1			
国際言語文化研究科	2				2	
環境学研究科	6		4	1	1	
情報科学研究科	7	1	5		1	
創薬科学研究科	1		1			
法・専門職学位課程	0					
その他	2				2	
春期	64	14	31	6	13	
学部	75	14	40	4	17	
研究科	3					
合計	139	28	71	10	30	

平成28年度 るい瘦 (BMI 15以下) 精密検査結果

15以下：18名

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考
		D-3	D-2	D-1		
文学部	2				2	
教育学部	0					
法学部	0					
経済学部	3	1	1	1		
情報文化学部	0					
理学部	4	2	2			
医学部	0					
保健学科	1		1			
工学部	2	2				
農学部	1	1				
文学研究科	0					
教育発達科学研究科	0					
法学研究科	0					
経済学研究科	0					
理学研究科	0					
医学系	0					
医学専攻	0					
保健学専攻	0					
工学研究科	0					
生命農学研究科	0					
国際開発研究科	0					
多元数理科学研究科	0					
国際言語文化研究科	1				1	
環境学研究科	0					
情報科学研究科	0					
創薬科学研究科	0					
法・専門職学位課程	0					
その他	0					
計	13	6	4	1	2	
研究科	1	0	0	0	1	
合計	14	6	4	1	3	

平成28年度 貧血 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考
		D-3	D-2	D-1		
文学部	0					
教育学部	0					
法学部	0					
経済学部	0					
情報文化学部	0					
理学部	0					
医学部	0					
保健学科	1	1				
工学部	0					
農学部	0					
文学研究科	0					
教育発達科学研究科	0					
法学研究科	0					
経済学研究科	0					
理学研究科	0					
医学系	0					
医学専攻	0					
保健学専攻	0					
工学研究科	0					
生命農学研究科	0					
国際開発研究科	0					
多元数理科学研究科	0					
国際言語文化研究科	0					
環境学研究科	0					
情報科学研究科	0					
創薬科学研究科	0					
法・専門職学位課程	0					
その他	0					
春期	1	1	0	0	0	
研究科	0	0	0	0	0	
秋期	0					
学部・研究生	0					
合計	0	0	0	0	0	

平成28年度 甲状腺 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考
		D-3	D-2	D-1		
文学部	0					
教育学部	0					
法学部	0					
経済学部	0					
情報文化学部	0					
理学部	0					
医学部	0					
保健学科	1			1		
工学部	0					
農学部	0					
文学研究科	0					
教育発達科学研究科	1			1		
法学研究科	0					
経済学研究科	0					
理学研究科	0					
医学系	0					
医学専攻	0					
保健学専攻	0					
工学研究科	1	1				
生命農学研究科	0					
国際開発研究科	0					
多元数理科学研究科	0					
国際言語文化研究科	1			1		
環境学研究科	0					
情報科学研究科	0					
創薬科学研究科	0					
法・専門職学位課程	0					
その他	0					
春期	1	0	0	1	0	
学部	3	1	0	2	0	
研究科	1			1		
秋期	1			1		
学部・研究生	5	1	0	4	0	他14名：通院中
合計						

平成28年度 肝臓 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考
		D-3	D-2	D-1		
文学部	0					
教育学部	0					
法学部	0					
経済学部	0					
情報文化学部	0					
理学部	0					
医学部	0					
医学科	0					
保健学科	0					
工学部	0					
農学部	1			1		
文学研究科	0					
教育発達科学研究科	0					
法学研究科	0					
経済学研究科	0					
理学研究科	0					
医学系	0					
医学専攻	0					
保健学専攻	0					
工学研究科	0					
生命農学研究科	0					
国際開発研究科	1		1			
多元数理科学研究科	0					
国際言語文化研究科	0					
環境学研究科	0					
情報科学研究科	0					
創薬科学研究科	0					
法・専門職学位課程	0					
その他	0					
春期	1	0	0	1	0	1名：通院中
学部	1	0	1	0	0	
研究科	0					
秋期	0					
学部・研究生	2	0	1	1	0	他2名：通院中
合計						

# 健康調査票

表 1

X線

仮

尿

Va

検査日 年 月 日			
学生番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	学部 学科 年
ふりがな	研究科 M・D 年		
氏名	生年月日	年 月 日	生(才)男・女
連絡先	携帯(自宅)Tel	研究室(内線)	

\* 胸部X線検査について、どちらかにチェック(✓)してください[記入対象者: 2~4年・M2・D2~の学生(医学系学生は除く)]  
 (就職活動・奨学金申請及び課外活動等で診断書を必要とする学生は必ず胸部X線検査を受けてください)  
 胸部X線検査: 希望する 希望しない

[1]過去および現在の病気について、該当項目にチェック(✓)してください

該当なし

心臓病  肝臓病  甲状腺疾患  肺結核  気胸

腎臓病  糖尿病  気管支喘息  その他( )

最近2週間以上咳が続いている

[2]最近感じていることを(はい・いいえ)のいずれかに○を記入してください

1 ちょっとしたことでも気になって仕方がないですか (はい・いいえ)

2 すぐかっとなったり、いらいらしますか (はい・いいえ)

3 寝つきが悪かったり、眠ってもすぐ目を覚ますことがよくありますか (はい・いいえ)

4 自分の健康のことが気になって仕方がないですか (はい・いいえ)

5 同じ動作をくりかえしたり、同じ概念がいつも頭から離れなかつたりすることがあります (はい・いいえ)

6 自分と周囲とがぼんやりとしていて、あたかもガラスで仕切られているような気がしますか (はい・いいえ)

7 自分の心の中のことが他人に知られているように感じるがありますか (はい・いいえ)

8 自分の体臭や視線が他人に迷惑をかけていると思うことがありますか (はい・いいえ)

9 他人が避けたり、人に監視されていると思うことがありますか (はい・いいえ)

10 やる気がなくなり、ぼんやりとしていることがよくありますか (はい・いいえ)

11 孤独感を強く感じたりすることがあります (はい・いいえ)

12 自殺したいと思うことがありますか (はい・いいえ)

[3]体・心の健康について医師に相談したいことや自分の健康について気になることがあれば記入してください

ない

ある  
 (例:不安、対人関係の悩み、性格の悩みなど...)

\* 健康調査票は健康管理以外の目的には使用しません。

名古屋大学

スタッフ記入欄(必要時)

Bp	/	Ht		Va・R	<input type="checkbox"/> 矯正
		Wt		L	<input type="checkbox"/> 矯正
P		BMI	<input type="checkbox"/> H <input type="checkbox"/> L		

<input type="checkbox"/> 肝	<input type="checkbox"/> 甲	<input type="checkbox"/> 貧	<input type="checkbox"/> 聴	<input type="checkbox"/> 心音	<input type="checkbox"/> BMI無	<input type="checkbox"/> その他( )
----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------------	-------------------------------	---------------------------------

## 2) 特殊健康診断

本健診は放射線(表2)あるいは有害物質を取り扱う(表3, 4)学生に対して行うものである。健診項目および健診結果を表に示した。

\* 以下 学部・研究科は略し、対象外は含まず。(例:理学部・理学研究科 → 理学部 etc)

## I. 放射線同位元素等を取り扱う実験・実習に従事する学生

### 平成28年度 放射線従事学生状況および検査結果

#### 1. 皮膚検査

学部・研究科	継続者 検査 不要	新規従事者 および 要観察者						受検者の検査結果			合計
		第1回	第2回	第3回	第4回	他機関	計	異常 なし	D-2 要観察	D-1 要医療	
理学部	258	111	11	12	22	1	157	157			415
医学部・医	15	17	1	2	2	1	23	23			38
医学部・保	111	43	0	0	44	0	87	87			198
工学部	565	270	13	4	49	2	338	338			903
農学部	56	16	3	39	13	5	76	76			132
環境	18	3	1	1	1	0	6	6			24
創薬	17	5	2	0	0	0	7	7			24
他の所属	2	0	0	0	1	0	1	1			3
その他	11	0	2	0	0	0	2	2			13
合計	1,053	465	33	58	132	9	697	697	0	0	1,750

#### 2. 眼の検査

学部・研究科	継続者 検査 不要	新規従事者 および 要観察者						受検者の検査結果			合計
		第1回	第2回	第3回	第4回	他機関	計	異常 なし	D-2 要観察	D-1 要医療	
理学部	258	111	11	12	22	1	157	157			415
医学部・医	15	17	1	2	2	1	23	22	1		38
医学部・保	111	43	0	0	44	0	87	87			198
工学部	565	270	13	4	49	2	338	338			903
農学部	56	16	3	39	13	5	76	74	2		132
環境	18	3	1	1	1	0	6	5	1		24
創薬	17	5	2	0	0	0	7	7			24
他の所属	2	0	0	0	1	0	1	1			3
その他	11	0	2	0	0	0	2	2			13
合計	1,053	465	33	58	132	9	697	693	4	0	1,750

#### 3. 血液検査

学部・研究科	継続者 検査 不要	新規従事者 および 要観察者						受検者の検査結果			合計
		第1回	第2回	第3回	第4回	他機関	計	異常 なし	D-2 要観察	D-1 要医療	
理学部	256	111	13	12	22	1	159	157	2		415
医学部・医	15	17	1	2	2	1	23	23			38
医学部・保	110	43	1	0	44	0	88	87	1		198
工学部	554	270	23	4	49	2	348	345	1	2	902
農学部	55	16	4	39	13	5	77	75	2		132
環境	18	3	1	1	1	0	6	6			24
創薬	17	5	2	0	0	0	7	7			24
他の所属	2	0	0	0	1	0	1	1			3
その他	11	0	2	0	0	0	2	2			13
合計	1,038	465	47	58	132	9	711	703	6	2	1,749

今年度の特殊健康診断判定数は 1753 名

その他：実験研究等のため受け入れている日本学術振興会特別研究員・他大学生

## 6-2 放射線を取り扱う学生の特殊健康診断実施要領

名古屋大学において放射線業務（RI、放射線発生装置、X線発生装置等を用いた実習、実験、診療等）を行う学生（学部生、大学院生、研究生等）は以下に従い、「特殊健康診断」を受けなければならない。

### 対象者区分

#### 1. 新規従事者

##### 1) 新たに放射線業務を行う者：

問診および検査（血液、皮膚、眼の検査）が必須である。その後の健康診断は、継続従事者に準じて実施する。

#### 2. 継続従事者

##### 1) 継続して放射線業務を行う者：

一年を超えない期間ごとに問診を必ず受け、必要に応じて検査（血液、皮膚、眼の検査）を受けなければならない。

##### 2) 放射線業務あるいは従事者登録の期間にブランクがある者（過去にRIを取り扱ったがその後放射線業務をせず放射線業務従事者としての登録をしていない者、海外留学などで放射線業務に中断期間がある者等）：

放射線業務を始める前に問診を必ず受け、必要に応じて検査（血液、皮膚、眼の検査）を受けなければならない。所属部局の放射線取扱主任者は中断期間等について被ばく歴等の調査、判定を行う。

#### 3. RI資格追加取得者、名大では新規だが学外で従事歴がある者

##### 1) RI資格追加取得者（第3種資格（X線）所持者が第2種資格（RI）を追加取得する場合、すなわち、X線装置を使用する電離放射線障害防止規則のみに係る放射線業務従事者が、新たに放射線障害防止法に係る放射線業務従事者になる場合）：

新規従事者として特殊健康診断（問診および検査（血液、皮膚、眼の検査））を受けなければならない。所属部局の放射線取扱主任者は、過去の（X線業務従事期間の）被曝歴を調査し評価する。

##### 2) 名大では新規だが学外で従事歴がある者（名古屋大学外で既に放射線業務歴がある者が、名古屋大学で新たに放射線業務に従事する場合）：

所属部局の放射線取扱主任者は、従事者が添付する学外従事時の被曝記録をもとに、過去の被曝歴を調査し評価する。

### 放射線業務従事者特殊健康診断問診受検票（以下、「問診受検票」という。）

1. 本人用、教務掛・放射線管理室用、保健管理室用の三枚複写になっている。

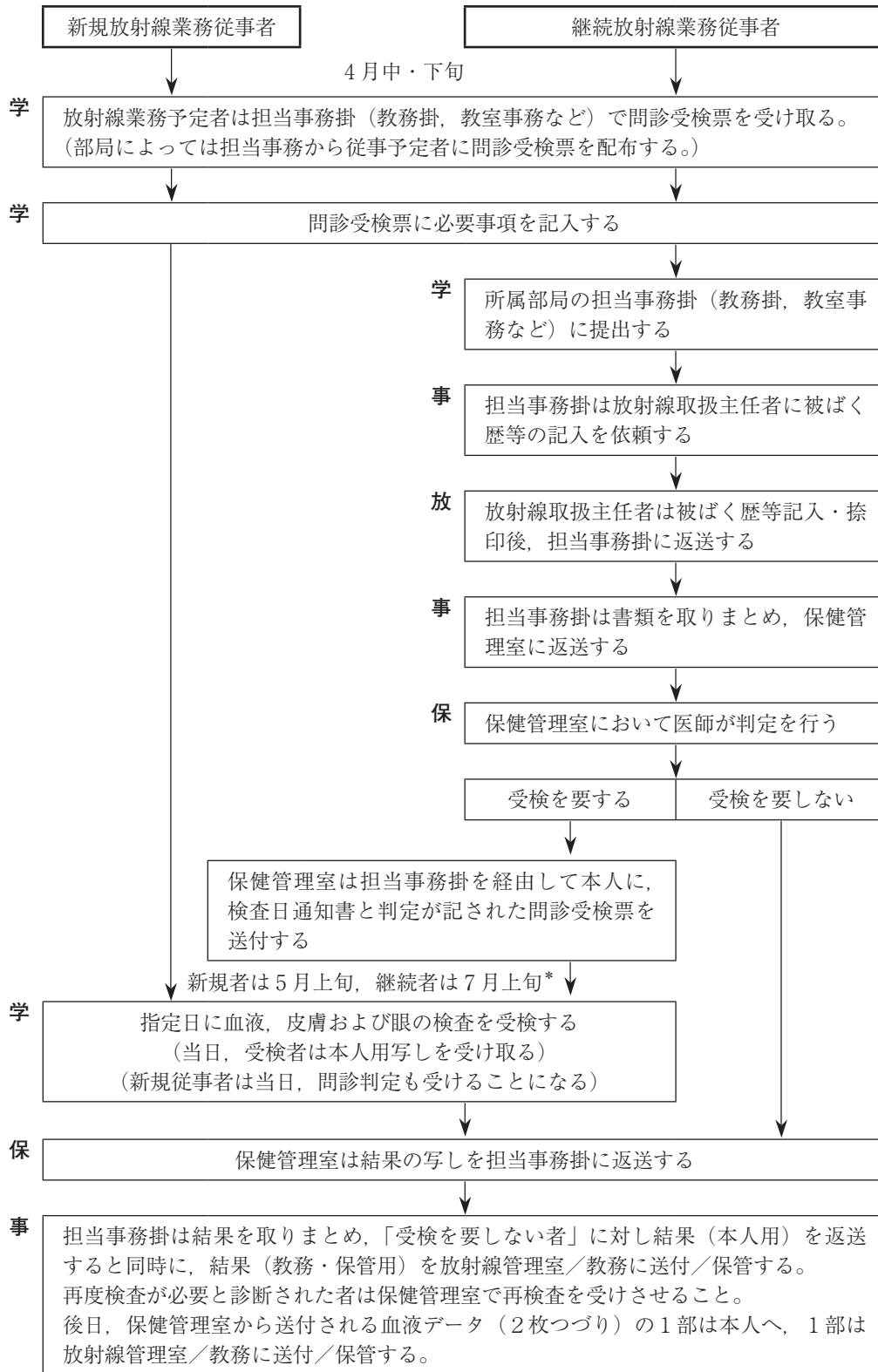
2. 年度当初に保健管理室から各部局教務掛に配布されたものを「手続きの流れ」に沿って処理する。

## その他

1. 名古屋大学保健管理室での血液検査は採血日をもって検査完了とみなす。但し、後日保健管理室から送付される血液検査データ（2枚つづり）を、教務掛は一部を本人に配布するとともに一部を保管または放射線管理室に送付する。
2. 健康診断結果（問診受検票および血液検査データ）は本人保管を原則とする。本人は放射線管理室からの依頼に応じてその写しを提出する義務がある。提出のない場合は放射線業務従事者としての登録ができない。
3. 急なRI業務開始や予定外のRI業務等で特殊健康診断を受ける必要がある場合、年間健診予定期日に関し保健管理室に確認し、他施設で受診する。そのうえで、保健管理室で判定を受ける必要がある。その場合、結果は6ヵ月以内のものを有効とする。
4. 放射線取扱主任者、保健管理室長は被ばく予想量が5 mSv以下であっても必要に応じて検査を勧告できる。また本人も検査を希望・受診することができる。
5. 妊娠中、妊娠の可能性のある女子従事者は放射線取扱主任者にその旨照会する。

## 特殊健康診断の手続きの流れ【学生】

各枠外に主たる作業者を **学：学生**，**事：事務掛**，**放：主任者**，**保：保健管理室** で示す。



\*：特殊健康診断予定期間はここに示した時期を含め年4回設けられている。



放射線業務従事者特殊健康診断問診受検票 (略：問診受検票)

No.

本人用

\*切り取らず3枚とも提出

折り曲げ厳禁

要保管

放射線を扱う業務に必要です。この用紙及び血液結果のある方はその用紙も必ず保管してください。

平成【 】年度		学生	
学生番号		記入年月日	年 月 日
フリガナ		性別	男 女
氏名		生年月日	年 月 日生
学部 研究科	学科 専攻	コース (B・M・D) 研究室 年	所属学部・所属大学の変更 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (前所属: )
連絡先 (すぐに連絡がつく電話番号・内線)			

従事者記入欄: この欄は従事者自身が記入してください。該当区分にチェックし、必要事項を記入してください。

<input type="checkbox"/> <b>継続従事者</b> (以前から放射線業務に従事している者) <small>※指定日までに本用紙を所定の事務担当者に提出してください</small> I] 本年度春定期健康診断 <input type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> 未受診 II] 放射線業務内容調査 ① 作業予定内容 <input type="checkbox"/> 非密封RIの取扱い <input type="checkbox"/> エックス線装置の取扱い <input type="checkbox"/> 密封RIの取扱い <input type="checkbox"/> 核燃料物質の取扱い <input type="checkbox"/> 加速器の取扱い <input type="checkbox"/> 管理区域への立入 <input type="checkbox"/> その他(具体的に: ) ② 作業予定場所 <input type="checkbox"/> 学内(具体的に: ) <input type="checkbox"/> 学外(具体的に: ) ③ 作業場所の変更 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(具体的に: ) ④ 作業内容の変更、従事時間数の増加、その他の理由による被曝線量の増減が見込まれますか? <input type="checkbox"/> 減少又は同程度の予定 <input type="checkbox"/> 増加の予定(予想線量、原因: ) III] 自覚症状調査: 放射線業務に関連して、身体に関して心配事がありましたら記入してください <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(具体的に: ) 以下、該当者はチェックしてください <input type="checkbox"/> 本年度の初回特殊健康診断開催前に行われる学部実習受講のために、前年度末の特殊健康診断を受検済 <small>※この用紙に前回の受検票の写しを添付し、所定の事務担当者に提出してください</small>	<input type="checkbox"/> <b>新規従事者</b> (初めて放射線業務に従事予定の者) <small>※本用紙を持参して、指定の日時に特殊健康診断を受検してください</small> I] 本年度春定期健康診断 <input type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> 未受診 II] 特殊健康診断受検理由 <input type="checkbox"/> RIまたはX線取扱資格を取得し、放射線業務に従事するため <input type="checkbox"/> RI講習 <input type="checkbox"/> X線講習 <input type="checkbox"/> 学部実習 受講予定 <small>*健康診断は1年が有効期間です。期間内に放射線業務に従事することのため受検</small> <input type="checkbox"/> _____
<input type="checkbox"/> <b>RI資格追加取得者、名大では新規だが学外で従事歴がある者</b> <small>※本用紙を主任者に提出し主任者記入欄(被曝歴)(☆)の記入を受けた後、本用紙を持参して、指定の日時に特殊健康診断を受検してください</small> I] 本年度春定期健康診断 <input type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> 未受診 II] 特殊健康診断受検理由 <input type="checkbox"/> 3種(X線)資格者がRI資格を追加取得し1種資格に変更予定 <input type="checkbox"/> 学外で放射線業務歴があり、名古屋大学で新たに従事予定 <small>*学外で放射線業務歴がある者は、主任者記入欄(被曝歴)の記入を依頼する際に学外での被曝記録を添付してください</small> III] 今までの放射線業務について記入して下さい 作業場所( ) 作業内容( ) 作業期間( ) 放射線障害の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(具体的に: ) 自覚症状の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(具体的に: )	

主任者記入欄(被曝歴): この欄は放射線取扱主任者が記入します。

前年度の特殊健康診断(検査)受検状況(全てでない場合、検査項目に○をつける) <input type="checkbox"/> 受検済み <input type="checkbox"/> 受検不要 <input type="checkbox"/> 未受検 (皮膚・眼・血液) (皮膚・眼・血液)	いずれかにチェック <input type="checkbox"/> 前年度従事している <input type="checkbox"/> 本年度より従事 <input type="checkbox"/> 以前従事: 平成 年 月 ~ 平成 年 月
前年度の (前回特殊健康診断後) 被曝線量 <input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> mSv <input type="checkbox"/> mSv <input type="checkbox"/> mSv <input type="checkbox"/> mSv <small>☆の者は過去の累積線量</small> <input type="checkbox"/> 前回の特殊健康診断後従事歴なし (前回特殊健康診断 年度)	過去の被曝歴 (特記事項欄に作業の場所、内容、期間、線量、放射線障害の有無、自覚症状の有無その他放射線による被曝の状況を記入) <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 特記事項
本年度の被曝予測: 5mSvを超えるおそれが <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 上記のとおりであることを認めます。 平成 年 月 日 放射線取扱主任者 印	

保健管理室記入欄: この欄は保健管理室が記入します。

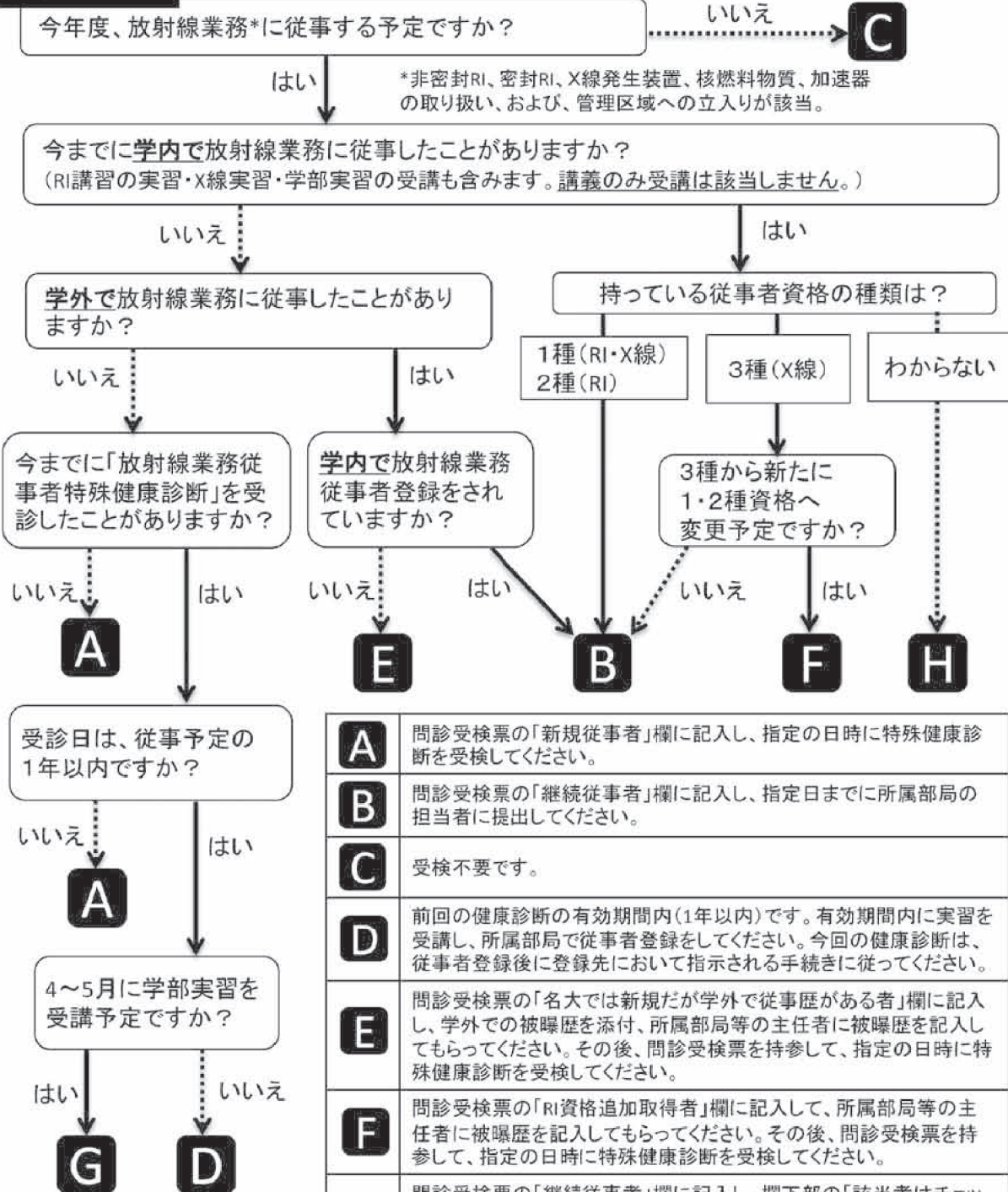
問診項目の結果より、本年度の特殊健康診断については			
新規従事者	継続従事者	実施場所	結果及び講じた措置
皮膚検査 <input type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 必要でない <input type="checkbox"/> 必要である	名大保健管理室 他( )	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 要観察 <input type="checkbox"/> 要医療 平成 年 月 日 医師名 印
眼の検査 上記と同じ	<input type="checkbox"/> 必要でない <input type="checkbox"/> 必要である	名大保健管理室 他( )	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 要観察 <input type="checkbox"/> 要医療 平成 年 月 日 医師名 印
血液検査 上記と同じ	<input type="checkbox"/> 必要でない <input type="checkbox"/> 必要である	名大保健管理室 他( )	検査結果(別紙)は後日報告 平成 年 月 日 医師名 印
平成 年 月 日			保健管理室長 印

\*血液検査必須項目: 赤血球数、血色素量又はヘマトクリット値、白血球数、白血球百分率

# 放射線業務従事者特殊健康診断問診受検票(問診受検票) 記入フローチャート(学生)

詳細版

**スタート!**



<b>A</b>	問診受検票の「新規従事者」欄に記入し、指定の日時に特殊健康診断を受検してください。
<b>B</b>	問診受検票の「継続従事者」欄に記入し、指定日までに所属部局の担当者に提出してください。
<b>C</b>	受検不要です。
<b>D</b>	前回の健康診断の有効期間内(1年以内)です。有効期間内に実習を受講し、所属部局で従事者登録をしてください。今回の健康診断は、従事者登録後に登録先において指示される手続きに従ってください。
<b>E</b>	問診受検票の「名大では新規だが学外で従事歴がある者」欄に記入し、学外での被曝歴を添付、所属部局等の主任者に被曝歴を記入してもらってください。その後、問診受検票を持参して、指定の日時に特殊健康診断を受検してください。
<b>F</b>	問診受検票の「RI資格追加取得者」欄に記入して、所属部局等の主任者に被曝歴を記入してもらってください。その後、問診受検票を持参して、指定の日時に特殊健康診断を受検してください。
<b>G</b>	問診受検票の「継続従事者」欄に記入し、欄下部の「該当者はチェックして下さい」にチェックし、前回受検した特殊健康診断の写しを添付して、指定日までに所属部局の担当者に提出して下さい。
<b>H</b>	所属部局の担当者、またはアイソトープ総合センター放射線安全管理室にご相談ください。

※フローチャート以外の動きは、所属部局の放射線取扱主任者、保健管理室の判断によるものとする

## II. 有害物質を取り扱う実験・実習に従事する学生

### 平成28年度 有害物質等従事学生の調査および検査結果

#### 調査結果

学部・研究科	有害物質取扱者	健康診断対象者	受診者
理学部	344	212	181
医学部・医学	65	12	9
医学部・保健学	99	2	2
工学部	995	464	337
農学部	211	88	70
環境学研究科	17	1	1
情報文化・情報科学	8	2	1
創薬科学研究科	47	36	34
その他	1	0	0
合計	1,787	817	635

※対象者は、物質の取扱が週1回以上の学生および自覚症状のある学生

#### 健康診断結果

検査	学部・研究科	受検者	受検者の結果			
			異常なし	所見有り	所見・要医	未受検
内科	理	181	181			
	医	9	9			
	保健	2	2			
	工	337	337			
	農	70	70			
	環境	1	1			
	情報	1	1			
	創薬	34	34			
	その他	0	0			
皮膚	理	181	181			
	医	9	9			
	保健	2	2			
	工	337	334		3	
	農	70	69		1	
	環境	1	1			
	情報	1	1			
	創薬	34	34			
眼	理	3	3			
	医					
	保健					
	工	1	1			
	農					
	環境					
	情報					
	創薬					
血液	理	80	74	4	2	
	医					
	保健					
	工	167	159	8		
	農	33	31	2		
	環境					
	情報					
	創薬	27	24	3		
尿	理	1	1			
	医					
	保健					
	工	7	7			
	農					
	環境					
	情報					
	創薬					
その他						

表 3

平成 年度

有害化学物質取扱状況調査票（学生）

学部受付No.

※太枠内をボールペンで力を入れて記入してください。

学 部		学 科		年
研究科		専 攻		
学生番号				
フリガナ				
氏 名				
電話又は内線番号				

定期健康診断 受診状況	1.受診 2.未受診
----------------	---------------

調査票内容を 確認後サイン又は 押印してください	指導教員確認欄 押印またはサイン
--------------------------------	---------------------

記入後指定日までに所属学部・教務掛へ提出してください。取り扱い物質のない場合は、調査票の提出は不要です。

この調査は実験・実習・研修等で有害化学物質を取り扱う学生の健康状態把握のために行います。調査票を確認後、健康診断が必要な場合には「特殊健康診断受検票」を渡します。健康診断は10月中旬を予定していますので必ず受診してください。

1. 取り扱っている物質の中で取り扱い回数が週1回（年間50日）以上の物質項目には◎を、それ以下の取り扱い回数の物質項目には○をつけてください。取り扱いのない物質項目は空欄のままにしてください。

01	有機	二硫化炭素	32	有機	2-ブタノール
02	有機	アセトン	33	有機	メタノール
03	有機	イソブチルアルコール	34	有機	メチルエチルケトン
04	有機	イソプロピルアルコール	35	有機	メチルシクロヘキサノール
05	有機	イソペンチルアルコール	36	有機	メチルシクロヘキサノン
06	有機	エチルエーテル	37	有機	メチルブチルケトン
07	有機	エチレングリコールモノエチルエーテル	38	有機	コールタールナフサ
08	有機	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	39	有機	石油エーテル
09	有機	エチレングリコールモノブチルエーテル	40	有機	石油ナフサ
10	有機	エチレングリコールモノメチルエーテル	41	有機	石油ベンジン
11	有機	オルト-ジクロロベンゼン	42	有機	テレピン油
12	有機	キシレン	43	有機	ミネラルスピリット
13	有機	クレゾール	44	有機	鉛・鉛化合物等を取り扱う実験・実習等
14	有機	クロルベンゼン	45	特化	ナフタレン
15	有機	酢酸イソブチル	46	特化	クロロホルム
16	有機	酢酸イソプロピル	47	特化	四塩化炭素
17	有機	酢酸イソペンチル	48	特化	1,4-ジオキサン
18	有機	酢酸エチル	49	特化	1,2-ジクロロエタン
19	有機	酢酸ブチル	50	特化	ジクロルメタン
20	有機	酢酸プロピル	51	特化	スチレン
21	有機	酢酸ペンチル	52	特化	1,1,2,2-テトラクロロエタン
22	有機	酢酸メチル	53	特化	テトラクロロエチレン
23	有機	シクロヘキサノール	54	特化	トリクロロエチレン
24	有機	シクロヘキサノン	55	特化	メチルイソブチルケトン
25	有機	1,2-ジクロロエチレン	56	特化	クロム酸及びその塩
26	有機	N,N-ジメチルホルムアミド	57	特化	3,3-ジクロロ-4,4-ジアミノジフェニルメタン
27	有機	テトラヒドロフラン	58	特化	ベリリウム及びその化合物
28	有機	1,1,1-トリクロロエタン	59	特化	ペータープロピオラクトン
29	有機	トルエン	60	特化	ベンゼン
30	有機	ノルマルヘキサン	61	特化	ニトログリコール
31	有機	1-ブタノール	62	特化	塩化ビニル

\*裏面もご記入ください。

表 3

63	特化	砒素及びその他化合物(アルシン及び砒化ガリウム除)	89	特化	臭化メチル
64	特化	ベンジジン及びその塩	90	特化	重クロム酸及びその塩
65	特化	四-アミノジフェニル及びその塩	91	特化	水銀及びその無機化合物
66	特化	四-ニトロジフェニル及びその塩	92	特化	トリレンジイソシアネート
67	特化	ビス[クロロメチル]エーテル	93	特化	ニッケルカルボニル
68	特化	ペーターナフチルアミン及びその塩	94	特化	パラ-ジメチルアミノアゾベンゼン
69	特化	ジクロルベンジジン及びその塩	95	特化	パラ-ニトロクロルベンゼン
70	特化	アルファ-ナフチルアミン及びその塩	96	特化	弗化水素
71	特化	塩素化ビフェニル[PCB]	97	特化	ペンタクロルフェノール及びそのナトリウム塩
72	特化	オルト-トリジン及びその塩	98	特化	マゼンタ
73	特化	ジアニシジン及びその塩	99	特化	マンガン及びその化合物
74	特化	ベンゾトリクロリド	100	特化	沃化メチル
75	特化	アクリルアミド	101	特化	硫化水素
76	特化	アクリロニトリル	102	特化	硫酸ジメチル
77	特化	アルキル水銀化合物	103	特化	ニッケル化合物(ニッケルカルボニルを除く)
78	特化	エチレンイミン	104	歯科	塩酸
79	特化	塩素	105	歯科	硝酸
80	特化	オーラミン	106	歯科	硫酸
81	特化	オルト-フタロジニトリル	107	歯科	亜硫酸
82	特化	カドミウム及びその化合物	108	歯科	弗化水素
83	特化	クロロメチルメチルエーテル	109	歯科	黄燐
84	特化	五酸化バナジウム	110	じん肺	常時粉じん状態の所での実験・実習等
85	特化	コールタール	その他：上記項目以外で使用した物質等がありましたら 下記に物質名を記入し、◎又は○をつけてください		
86	特化	シアン化カリウム			
87	特化	シアン化水素			
88	特化	シアン化ナトリウム			

2. 昨年度の特殊健康診断(有害)の結果について記入してください。(○印をつける)

( ) 異常なし ( ) 所見有り ( ) 受けていない

3. 次の頁にある学生特殊健康診断(有害)受検票の「Ⅰ」「Ⅱ」の質問について必ず記入してください。



### 3. 職員の健康診断

#### 1) 一般定期健康診断

職員の健康診断は職員課福祉係が計画を立案，統括している。

定期健康診断の実施状況，実施要項は別表の通りである。必要に応じて外部機関への受診をすすめ，紹介等を行っている。今年度より胸部X線検査の撮影方法を間接撮影から直接撮影（デジタル）に変更になった。

#### 職員一般定期健康診断実施状況

検査項目	対象人員	実施時期(月)
胸部X線間接撮影検査	約 6,700人	7 (12)
尿検査	約 6,700	7 (12)
血圧検査	約 6,700	7 (12)
肝臓機能検査	約 3,600	7 (12)
脂質検査		
貧血検査		
糖質検査		
心電図検査		
腹囲測定		7 (12)
聴力検査 (1000 / 4000Hz)	約 2,800	7 (12)

( ) 書きは7月受診できなかった者

#### 職員一般定期健康診断実施要項

検査項目	実施回数	対象者
尿検査	年1回	全職員 ただし，前年度検査においてD-2以上の判定を受けた職員を除く
胸部X線間接撮影検査		
血圧検査		
身長体重・視力検査		
肝臓機能検査	年1回	35歳及び40歳以上の職員
脂質検査		
貧血検査		
糖質検査		
心電図検査	年1回	35歳・40歳および45歳以上の職員
腹囲測定		
聴力検査 (1000 / 4000Hz)		

#### 職員がん検診実施要領

検査項目	実施時期	対象者
胃のX線間接撮影検査	10月	40歳以上の職員で受検を希望する者
子宮頸がん検査	9月	30歳以上の女子職員で受検を希望する者
大腸がん検診 (便潜血反応検査)	7 (12)月	40歳以上の職員で受検を希望する者

平成28年度 職員一般（定期）健康診断実施結果

No.	部 局 名	対象者数	受診者数	未受診者数	受診率	備 考
1	事務局	7	6	1	85.7%	
2	総務部	144	138	6	95.8%	
3	企画部	9	9	0	100.0%	
4	財務部	66	61	5	92.4%	
5	教育推進部	152	137	15	90.1%	
6	研究協力部	60	56	4	93.3%	
7	施設管理本部	57	54	3	94.7%	
8	学術研究・産学官連携推進本部	52	50	2	96.2%	
9	国際機構	42	33	9	78.6%	
10	情報連携統括本部	55	53	2	96.4%	
11	教育基盤連携本部	5	4	1	80.0%	
12	総合企画室	4	4	0	100.0%	
13	監査室	5	5	0	100.0%	
14	教養教育院	22	21	1	95.5%	
15	高等研究院	5	5	0	100.0%	
16	トランスフォーメティブ生命分子研究所	73	67	6	91.8%	
17	アジアサテライトキャンパス学院	9	4	5	44.4%	
18	文学部・文学研究科	60	49	11	81.7%	
19	教育学部・教育発達科学研究科	53	35	18	66.0%	
20	教育学部附属中・高等学校	38	36	2	94.7%	
21	法学部・法学研究科	90	61	29	67.8%	
22	経済学部・経済学研究科	50	38	12	76.0%	
23	文系事務部	109	100	9	91.7%	
24	理学部・理学研究科	361	324	37	89.8%	
25	医学部・医学系研究科	769	734	35	95.4%	
26	医学部・保健学科	98	92	6	93.9%	
27	工学部・工学研究科	580	511	69	88.1%	
28	農学部・生命農学研究科	235	202	33	86.0%	
29	大学院国際開発研究科	44	39	5	88.6%	
30	多元数理科学研究科	65	55	10	84.6%	
31	大学院国際言語文化研究科	44	30	14	68.2%	
32	環境学研究科	185	144	41	77.8%	
33	情報文化学部・情報科学研究科	159	134	25	84.3%	
34	創薬科学研究科	33	31	2	93.9%	
35	医学部附属病院	2,168	2,108	60	97.2%	
36	環境医学研究所	52	49	3	94.2%	
37	宇宙地球環境研究所	97	83	14	85.6%	
38	未来材料・システム研究所	97	86	11	88.7%	
39	研究所事務部	52	48	4	92.3%	
40	附属図書館	58	55	3	94.8%	
41	アイソトープ総合センター	8	8	0	100.0%	
42	遺伝子実験施設	9	8	1	88.9%	
43	物質科学国際研究センター	23	21	2	91.3%	
44	高等教育研究センター	1	1	0	100.0%	
45	農学国際教育協力研究センター	12	8	4	66.7%	
46	博物館	12	10	2	83.3%	
47	生物機能開発利用研究センター	33	27	6	81.8%	
48	シンクロトロン光研究センター	16	16	0	100.0%	
49	基礎理論研究センター	5	4	1	80.0%	
50	現象解析研究センター	10	10	0	100.0%	
51	減災連携研究センター	27	23	4	85.2%	
52	細胞生理学研究センター	10	10	0	100.0%	
53	脳とこころの研究センター	11	10	1	90.9%	
54	ナショナルコンポジットセンター	13	10	3	76.9%	
55	総合保健体育科学センター	34	31	3	91.2%	
56	未来社会創造機構	81	69	12	85.2%	
57	素粒子宇宙起源研究機構	1	1	0	100.0%	
58	ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	4	4	0	100.0%	
59	予防早期医療創成センター	6	5	1	83.3%	
60	全学技術センター	4	4	0	100.0%	
	小 計	6,584	6,031	553	91.6%	
	内数：人間ドック受検者		858			

対象：常勤及び20時間以上の非常勤（退職者・休職者（育休等）は除く）



平成28年度 職員一般（定期）健康診断実施結果（胸部X線直接撮影）

	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	要観察	備 考
	東 山 地 区	3,705	2,668	1,037	72.0%	22	19	
	鶴 舞 地 区	3,153	2,955	198	93.7%	20	11	
	大 幸 地 区 他	138	116	22	84.1%	0	1	
	小 計	6,996	5,739	1,257	82.0%	42	31	
	経過確認者（他機関含む）		25				11	
	人間ドック受検者		858					
	合 計	6,996	6,622	374	94.7%	42	42	

対象者には特殊健康診断指示の者も含まれる 本年度より直接撮影になった

平成28年度 職員一般（定期）健康診断実施結果（尿：蛋白・糖・潜血）

回	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	要観察	備 考
1	東 山 地 区	3,811	2,453	1,358	64.4%	167	15	
	鶴 舞 地 区	3,452	2,991	461	86.6%	263	18	
	大 幸 地 区 他	139	101	38	72.7%	9	2	
	小 計	7,402	5,545	1,857	74.9%	439	35	
	人間ドック受検者（4～10月実施）		281					
	合 計	7,402	5,826	1,857	78.7%	439	35	
2	東 山 地 区	1,988	1,138	850	57.2%	101	14	
	鶴 舞 地 区	2,905	2,291	614	78.9%	253	10	
	大 幸 地 区 他	68	40	28	58.8%	6	2	
	小 計	4,961	3,469	1,492	69.9%	360	26	
	人間ドック受検者		577					
	合 計	4,961	4,046	915	81.6%	360	26	

第2回対象者は特定対象者及び定期健康診断未受検だった者を含む

平成28年度 職員一般（定期）健康診断実施結果（血圧検査）

回	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	要観察	備 考
1	東 山 地 区	3,809	2,435	1,374	63.9%	68	419	
	鶴 舞 地 区	3,452	3,006	446	87.1%	33	412	
	大 幸 地 区 他	138	101	37	73.2%	1	24	
	小 計	7,399	5,542	1,857	74.9%	102	855	
	人間ドック受検者（4～10月実施）		281					
	合 計	7,399	5,823	1,576	78.7%	102	855	
2	東 山 地 区	1,986	1,131	855	56.9%	46	143	
	鶴 舞 地 区	2,905	2,300	605	79.2%	21	226	
	大 幸 地 区 他	68	40	28	58.8%	3	5	
	小 計	4,891	3,471	1,420	71.0%	70	374	
	人間ドック受検者		577					
	合 計	4,891	4,048	843	82.8%	70	374	

平成28年度 職員一般（定期）健康診断実施結果（血液検査）

部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	要観察	備 考
東 山 地 区	2,825	1,545	1,280	54.7%	17	78	
鶴 舞 地 区	3,045	2,612	433	85.8%	22	126	
大 幸 地 区 他	120	80	40	66.7%	1	4	
小 計	5,990	4,237	1,753	70.7%	40	208	
人 間 ド ッ ク 受 検 者		858					

特定対象者を名大オリジナルで実施している

平成28年度 職員一般（定期）健康診断実施結果（心電図検査）

部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	要観察	備 考
東 山 地 区	2,597	1,793	804	69.0%	36	119	
鶴 舞 地 区	1,348	1,339	9	99.3%	29	77	
大 幸 地 区 他	115	93	22	80.9%	0	4	
小 計	4,060	3,225	835	79.4%	65	200	
人 間 ド ッ ク 受 検 者		858					

平成28年度 職員一般（定期）健康診断実施結果（聴力：オーディオ検査）

部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	要観察	備 考
東 山 地 区	2,051	1,368	683	66.7%	0	1	
鶴 舞 地 区	1,036	1,034	2	99.8%	0	25	
大 幸 地 区 他	95	78	17	82.1%	0	2	
小 計	3,182	2,480	702	77.9%	0	28	
人 間 ド ッ ク 受 検 者		858					

平成28年度 職員がん検診

検 査 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	要観察	備 考
胃 の 検 査	4,070	409	—	10.0%	26	63	
子 宮 頸 が ん 検 査	3,032	578	—	19.1%	19	61	
便 潜 血 反 応 検 査	4,070	810	—	19.9%	46	0	

## 2) 特殊健康診断

本健診の実施計画およびその結果を表に示した。

職員特殊健康診断実施計画

検 査 項 目	実 施 時 期 (月)
血 液 検 査 (R I 従 事 者)	7・12 (5・10)
血 液 検 査 (有 害 業 務 従 事 者)	7・12
皮 膚 検 査 (R I 従 事 者)	7・12 (5・10)
皮 膚 検 査 (有 害 業 務 従 事 者)	7・12
眼 の 検 査 (R I 従 事 者)	7・12 (5・10)
眼 の 検 査 (有 害 業 務 従 事 者)	7・12
口 腔 検 査	7・12
血 圧 検 査	7・12
尿 検 査	7・12
胸 部 X 線 直 接 撮 影 検 査	8・1
聴 力 及 び 平 衡 機 能 等 検 査	6・11
整 形 外 科 系 検 査 (上 肢 ・ 肩 ・ 背 部 等)	3
心 肺 機 能 検 査	6・11

( ) 書きは学生検査日受診可能

平成28年度 職員特殊健康診断実施結果 (特定有害業務：R Iを除く)

検 査 項 目	回 数	対 象 者 数	受 検 者 数	受 検 率	備 考
心 肺 機 能 検 査	1	27	12	44.4%	
	2	30	10	33.3%	
耳 鼻 科 系 検 査	1	61	20	32.8%	
	2	60	26	43.3%	
眼 の 検 査	1	25	15	60.0%	
	2	24	10	41.7%	
口 ぐ ー 検 査	1	483	266	55.1%	
	2	492	286	58.1%	
皮 膚 検 査	1	470	268	57.0%	
	2	471	269	57.1%	
血 液 検 査 尿 検 査	1	一般(特定)検査に含まれる			
	2				
胸 部 X 線 撮 影	1	107	78	72.9%	
	2	67	49	73.1%	
整 形 外 科 系 検 査	1	1,227	1,066	86.9%	

平成28年度 職員特殊健康診断実施結果（放射線（R I）業務）

検査項目	回数	対象者数	省略者数	受検者数	備考
血液検査	1	1,639	1,442	158	
	2	1,650	1,418	148	
皮膚検査	1	1,639	1,439	108	
	2	1,650	1,409	87	
眼の検査	1	1,639	1,431	114	
	2	1,650	1,406	89	

### 3) 保健指導

一般健康診断のデータを基にして、40歳以上の職員を対象とする保健指導を始めた。動機付け支援レベル以上と判定された職員のうち希望者に対してのみ行った。保健管理室の保健師が一人一回30分ほどの時間をかけて指導を行った。

平成28年度 職員保健指導対象者状況

項目		1回目	2回目
保健指導 区分	積極的支援	121	38
	動機付け支援	230	51
	支援なし（治療中など）	2,122	406
対象外（40歳未満）		203	24
判定不能（ドック予定者・項目不足）		57	27

### 4) ストレスチェック

今年度より職員に対し、WEBにてストレスチェックを実施した。（一部職員は以前より実施していた）対象は、常勤職員、非常勤職員（契約職員、パートタイム勤務職員【週勤務時間数20時間以上】）面接実施者の面談は、本学の産業医（内科、精神科医）にて実施した。

平成28年度 ストレスチェック実施状況

	対象者	受検者	未受検	高ストレス者	面接実施者	受診率
東山	3,889	1,884	2,005	191	20	48.4%
鶴舞	3,110	1,481	1,629	214	15	47.6%
大幸	105	45	60	6	2	42.9%
合計	7,104	3,410	3,694	411	37	48.0%

表 5

特定有害業務等従事状況届出票（新規）

所属					
個人番号					
氏名					殿
提出年月日	週勤務時間数		生年月日		職員課福祉掛
採用年月日	性別		職種		

本年度の特殊健康診断等の受診対象者を確認するため、次に掲げる業務に従事する場合には、○を付して所属部局の人事担当掛に提出してください。

※石綿業務については、過去の取り扱い業務も含む。

特定	7	有害物のガス[ホルムアルデヒド、エチレンオキド]	有機	48	ガンリン
特定	イ	高熱物体および、暑熱な場所における業務	有機	49	コールタールナフサ[ソルベントナフサを含む]
特定	ヌ	深夜業を含む業務	有機	50	石油エーテル
特定	ロ	低温物質および、寒冷な場所における業務	有機	51	石油ナフサ
特定	ワ	病原体によって汚染のおそれが著しい業務	有機	52	石油ベンジン
給食	01	調理、配膳等給食のため食品を取り扱う業務	有機	53	テレピン油
有機	01	アセトン	有機	54	ミネラルスピリット
有機	02	イソブチルアルコール	有機	55	前各号に掲げる物のみから成る混合物
有機	03	イソプロピルアルコール	鉛	01	鉛の製練又は精練を行う工程における業務
有機	04	イソペンチルアルコール	鉛	02	銅又は亜鉛の製練又は精練を行う工程における業務
有機	05	エチルエーテル	鉛	03	鉛蓄電池の部品を製造、修理、又は解体する工程の業務
有機	06	エチレンジグリコールモノエチルエーテル	鉛	04	電線又はケーブルを製造する工程における業務
有機	07	エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート	鉛	05	鉛合金の製品を製造、修理、解体する工程の業務
有機	08	エチレンジグリコールモノメチルエーテル	鉛	06	鉛化合物を製造する工程における業務
有機	09	エチレンジグリコールモノメチルエーテル	鉛	07	鉛ライニングの業務[仕上げの業務を含む]
有機	10	オルト-ジクロロベンゼン	鉛	08	含鉛塗料を塗布した物の加工又はかき落しの業務
有機	11	キシレン	鉛	09	鉛装置の内部における業務
有機	12	クレゾール	鉛	10	鉛装置の破砕、溶接、溶断又は切断の業務
有機	13	クロロベンゼン	鉛	11	転写紙を製造する工程における鉛等の粉払いの業務
有機	14	クロロホルム	鉛	12	合成樹脂等の製品を製造する工程における業務
有機	15	酢酸イソブチル	鉛	13	自然換気が不十分な場所におけるはんだ付けの業務
有機	16	酢酸イソプロピル	鉛	14	鉛化合物を含有する軸葉の焼成の業務
有機	17	酢酸イソペンチル	鉛	15	鉛化合物を含有する絵具の焼成の業務
有機	18	酢酸エチル	鉛	16	溶融した鉛を用いて行なう業務
有機	19	酢酸ノルマループチル	鉛	17	動力を用いて印刷する工程における業務
有機	20	酢酸ノルマループロピル	鉛	18	前各号に掲げる業務を行なう作業場所清掃の業務
有機	21	酢酸ノルマループペンチル	電離	10	医療用のX線装置
有機	22	酢酸メチル	電離	11	工業用等のX線装置で撮影用のもの
有機	23	四塩化炭素	電離	12	工業用等のX線装置で透視用のもの
有機	24	シクロヘキサノール	電離	13	工業用等のX線装置で分析用のもの
有機	25	シクロヘキサノン	電離	14	工業用等のX線装置でその他のもの
有機	26	1, 4-ジオキサン	電離	15	荷電粒子を加速する装置
有機	27	1, 2-ジクロロエタン	電離	16	製造工程中のX線管
有機	28	1, 2-ジクロロエチレン	電離	17	製造工程中のケトロン
有機	29	ジクロロメタン	電離	18	医療用のガンマ線照射装置
有機	30	N, N-ジメチルホルムアミド	電離	19	工業用等のガンマ線照射装置
有機	31	スチレン	電離	20	ガンマ線照射装置以外の放射性物質を装備している機器
有機	32	1・1・2・2-テトラクロロエタン	電離	21	放射性物質
有機	33	テトラクロロエチレン	電離	22	原子炉
有機	34	テトラヒドロフラン	電離	23	坑内におけるラドンガス
有機	35	1, 1, 1-トリクロロエタン	特化	002	ベンジジン及びその塩
有機	36	トリクロロエチレン	特化	003	四-アミノジフェニル及びその塩
有機	37	トルエン	特化	004	四-ニトロジフェニル及びその塩
有機	38	二硫化炭素	特化	005	ビス[クロロメチル]エーテル
有機	39	ノルマルヘキサン	特化	006	ペーターナフチルアミン及びその塩
有機	40	1-ブタノール	特化	101	ジクロロベンジジン及びその塩
有機	41	2-ブタノール	特化	102	アルファーナフチルアミン及びその塩
有機	42	メタノール	特化	103	塩素化ビフェニル[PCB]
有機	43	メチルイソブチルケトン	特化	104	オルト-トリジン及びその塩
有機	44	メチルエチルケトン	特化	105	ジアニシジン及びその塩
有機	45	メチルシクロヘキサノール	特化	106	ベリリウム及びその化合物
有機	46	メチルシクロヘキサノン	特化	107	ベンゾトリクロリド
有機	47	メチルブチルケトン	特化	201	アクリルアミド

\* 該当がない場合は提出する必要はありません。

\* 裏面についても確認願います。

表 5

特定有害業務等従事状況届出票（新規）

所属						
個人番号						
氏名					殿	職員課福祉掛
提出年月日		週勤務時間数		生年月日		
採用年月日		性別		職種		

本年度の特殊健康診断等の受診対象者を確認するため、次に掲げる業務に従事する場合には、○を付して所属部局の人事担当掛に提出してください。

※石綿業務については、過去の取り扱い業務も含む。

特化	202	アクリロニトリル	歯科	3	硫酸
特化	203	アルキル水銀化合物	歯科	4	亜硫酸
特化	205	エチレンイミン	歯科	5	弗化水素
特化	206	塩化ビニル	歯科	6	黄燐
特化	207	塩素	歯科	7	その他歯又は指示組織に有害な物
特化	208	オーラミン	じん肺	010	土石、岩石又は鉱物を掘削する場所における作業
特化	209	オルト-フタロジニトリル	じん肺	020	鉱物等を積載した車の荷台をくつがえしたりする作業
特化	210	カドミウム及びその化合物	じん肺	030	鉱物等の分類や積み込み等の作業
特化	211	クロム酸及びその塩	じん肺	040	坑内において鉱物等を運搬する作業
特化	212	クロメチルメチルエーテル	じん肺	050	鉱物等を充てん、又は岩紛を散布する場所での作業
特化	213	五酸化バナジウム	じん肺	052	粉じんが付着した機械設備を移設、撤去、点検作業
特化	214	コールタール	じん肺	060	岩石又は鉱物を裁断する場所における作業
特化	216	シアン化カリウム	じん肺	070	研磨材を吹き付けたりして研磨する作業
特化	217	シアン化水素	じん肺	080	鉱物等を主成分とする原料を動力により破砕する作業
特化	218	シアン化ナトリウム	じん肺	090	セメント等を袋詰めし、積みおろす場所における作業
特化	219	3・3ジクロロ-4・4ジアミノジフェニルメタン	じん肺	100	粉状のアルミニウム又は酸化チタンを袋詰めする作業
特化	220	臭化メチル	じん肺	110	粉状の鉱石等を材料として製造する工程における作業
特化	221	重クロム酸及びその塩	じん肺	120	ガラス又はほうろうを製造する工程における作業
特化	222	水銀及びその無機化合物	じん肺	130	陶磁器等を製造する際の原材料を混合する工程の作業
特化	223	トリレンジイソシアネート	じん肺	140	炭素製品を製造する工程における作業
特化	224	ニッケルカルボニル	じん肺	150	砂型を用いて鋳物を鋳造する工程における作業
特化	225	ニトログリコール	じん肺	160	鉱物等運搬する船舶の船倉内で鉱物等をかき集める作業
特化	226	パラ-ジメチルアミノアゾベンゼン	じん肺	170	金属その他無機物を製錬し、溶融する工程における作業
特化	227	パラ-ニトロクロロベンゼン	じん肺	180	粉状の鉱物を燃焼する工程における作業
特化	228	弗化水素	じん肺	190	耐火物を用いてかま、炉等を築造、破砕等する作業
特化	229	ペーター-プロピオラクトン	じん肺	200	タンク内等でのアーク溶接、又はガウジングする作業
特化	230	ベンゼン	じん肺	210	金属を溶射する場所における作業
特化	231	ペンタクロロフェノール及びそのナトリウム塩	じん肺	220	染土の付着したい草を製織したりする場所における作業
特化	232	マゼンタ	じん肺	230	長大すい道内部のホッパー等の近くの場所における作業
特化	233	マンガン及びその化合物	じん肺	240	石綿[直接ときほぐす、吹き付ける等の作業]
特化	234	沃化メチル	石綿	01	アモサイト
特化	235	硫化水素	石綿	02	クロソドライト
特化	236	硫酸ジメチル	石綿	10	石綿[アモサイト及びクロソドライトを除く]
特化	237	ニッケル化合物[ニッケルカルボニルを除く]	石綿	20	石綿[粉じん発散場所での業務。前各号を除く。]
特化	238	砒素及びその化合物[アルシン及び砒素ガリウム除く]	その他	01	紫外線・赤外線にさらされる業務
特化	239	酸化プロピレン	その他	02	著しい騒音を発生する屋内作業場などにおける騒音作業
特化	240	1・1-ジメチルヒドラジン	その他	16	超音波接着機を取扱う業務
特化	241	インジウム化合物	その他	20	キーバンチャーの業務
特化	242	屋内塗装業務でエチルベンゼンを取り扱う業務	その他	23	チェーンソー使用による身体に著しい振動を与える業務
特化	243	コバルト及びその無機化合物	その他	24	チェーンソー以外の振動工具の取扱いの業務
特化	244	ジクロロプロパン洗浄・払拭作業	その他	25	重量物取扱作業、介護作業等腰部に著しい負担の作業
高気圧	10	高圧室内業務	その他	29	VDT作業(週15時間以上従事又は自覚症状がある者)
高気圧	20	潜水業務			
四アルキル	01	四アルキル鉛を製造する業務			
四アルキル	02	四アルキル鉛をガソリンに混入する業務			
四アルキル	03	前2号に掲げる業務に用いる機械の業務			
四アルキル	04	四アルキル鉛により汚染されているタンクの内部の業務			
四アルキル	05	四アルキル鉛等を含有する残さい物を取り扱う業務			
四アルキル	06	四アルキル鉛が入っているドラム缶を取り扱う業務			
四アルキル	07	四アルキル鉛を用いて研究を行う業務			
四アルキル	08	四アルキル鉛の汚染を除去する業務			
歯科	1	塩酸			
歯科	2	硝酸			

\* 該当がない場合は提出する必要はありません。

\* 裏面についても確認願います。

## 健康診断の流れ〔職員〕

- 1 初めて放射線業務を行う予定の者，放射線業務に従事している者は，3月上旬に調査される特定有害業務等従事状況届出票（別紙）の放射線業務欄（電離10～23）に記入しておく。  
職員課は，特定有害業務等従事状況届出票により放射線業務従事者に対して，「問診票」を各部局の衛生管理担当者を通して配付する。【4月中旬】【10月中旬】
- 2 放射線業務従事者は，配付された「問診票」に記入の上，各部局の衛生管理担当者へ送付する。  
各部局の担当者は，「問診票」に放射線取扱主任者による被ばく歴評価（押印）後，職員課へ報告する。（ただし，初めて放射線業務に従事する新規従事者は放射線取扱主任者の確認を必要としない。）【5月初旬】【10月下旬】
- 3 各部局の衛生管理担当者は，記載事項を確認のうえ「問診票」を職員課まで送付する。  
【5月中旬】【10月末】
- 4 職員課は「問診票」の判定を保健管理室長に依頼し，その判定結果を各部局の衛生管理担当者に通知し，同「問診票」を，各部局の衛生管理担当者またはR I 管理室が保管するとともに，衛生管理担当者は「問診票」の（写）を本人に送付する。【6月】【11月】
- 5 健康診断実施通知書を配布する。【6月中旬】【11月中旬】
- 6 検査（血液，皮膚，眼，定期健康診断）の実施【7月初旬】【12月初旬】

### 注意

初めて放射線業務を行う者は，上の流れで健康診断を受けるのが本来であるが，下の場合等急ぎ健康診断を受ける必要がある場合は，「放射線を取り扱う学生の特殊健康診断」実施時に受診が可能である。

- ・ 5月，7月のアイソトープ総合センター主催R I 講習受講等で，上の流れでは間に合わない場合
- ・ 年度途中で健康診断の受診が必要となった場合

但し，受診の際は職員専用の問診票が必要となる。所属する部局の人事担当掛で指定の問診票を受け取り持参すること。

## 健康診断の手続きの流れ【職員】

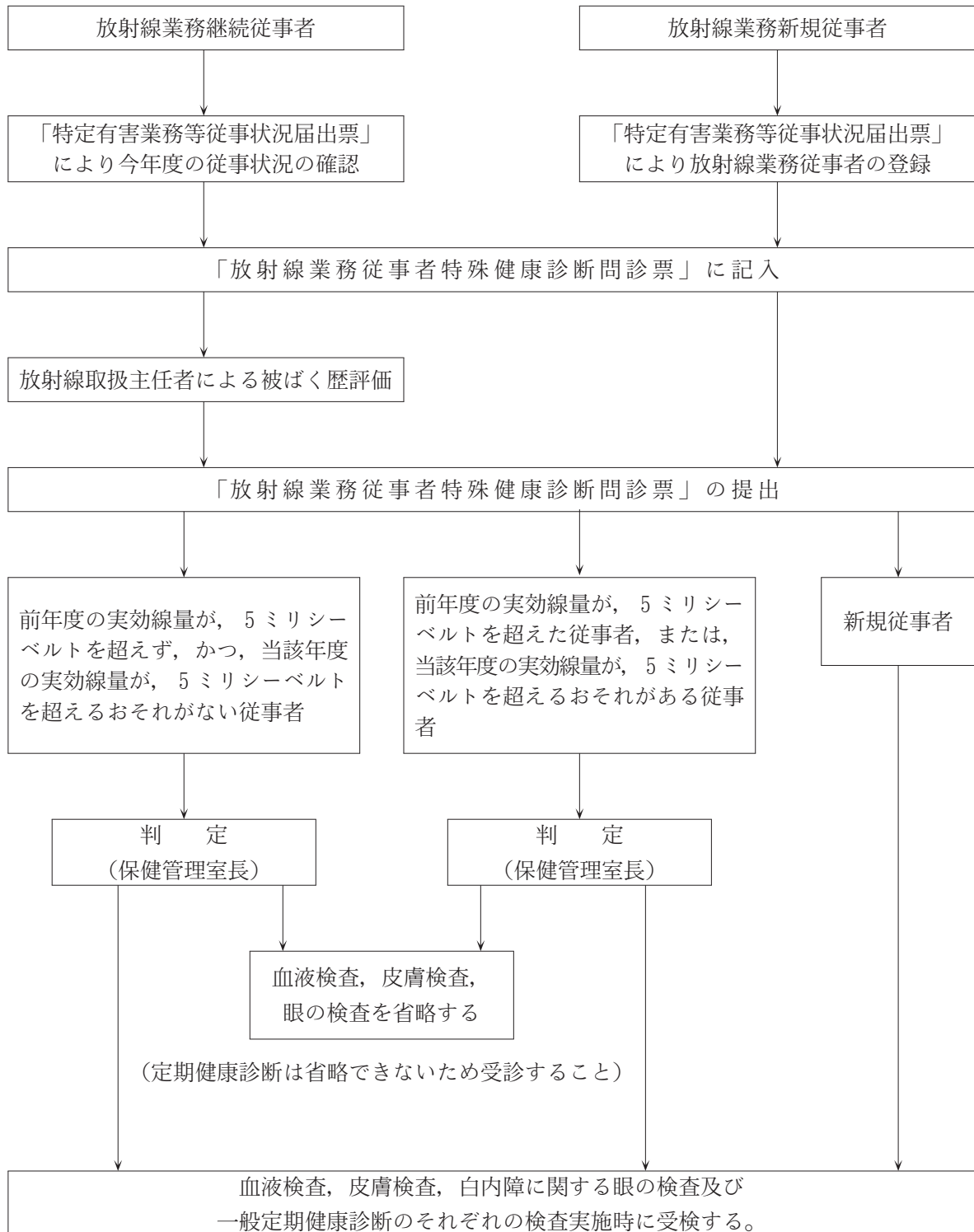




表 6

放射線業務従事者特殊健康診断問診票 問診票(職員)

フリガナ		記入年月日	平成	年	月	日
氏名		個人番号				
性別		生年月日				
所属						

★従事者記入欄：太枠内の項目を従事者自身が記入してください。（上記の記入年月日も記入してください。）

対象者区分：該当区分にチェックしてください。	
<input type="checkbox"/> 継続従事者 私は以前から放射線業務に従事しています。 ※ 以下の項目にも回答してください。 回答後は、指定日までに所属の事務担当者へ提出してください。	<input type="checkbox"/> 新規従事者 私は初めて放射線業務に従事予定で、被ばく歴はありません。 ※ 以下の(1)も回答してください。（その他は記入不要） 指定日までに所属の事務担当者へ提出し、指定された日時に特殊健康診断を受検してください。 (案内の通知が後日送付されます)
(1) 定期健康診断(又は人間ドック)受診状況： <input type="checkbox"/> 受診(直近の受診年月：平成 年 月) <input type="checkbox"/> 未受診	
(2) 業務内容調査：該当区分にチェック、または必要事項を記入してください。	
① 業務内容変更：あなたの当該年度の業務予定は、前年度と比較して変更がありますか？ <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
② 業務内容 <input type="checkbox"/> 非密封RⅠの取扱い <input type="checkbox"/> 密封RⅠの取扱い <input type="checkbox"/> 加速器の取扱い <input type="checkbox"/> エックス線装置の取扱い <input type="checkbox"/> 核燃料物質の取扱い <input type="checkbox"/> 管理区域への立ち入り <input type="checkbox"/> その他(具体的に： )	
③ 業務場所 <input type="checkbox"/> 所属部局内 <input type="checkbox"/> 大学内(具体的に： ) <input type="checkbox"/> 他の事業所(具体的に： )	
④ 業務期間    はじめて放射線業務に従事した時 昭和・平成 年 月 ~ 本年度 月	
(3) 自覚症状調査：放射線業務に関連して、身体に関して心配ごとがありましたら記入してください。 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(具体的に： )	

★主任者記入欄：以下の項目は放射線取扱主任者が記入します。（新規従事者については記入を要しない。）

<被ばく歴調査、被ばく量予測>

過去の被ばく歴： <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	前年度の実効線量： <input type="checkbox"/> 5mSv以下 <input type="checkbox"/> mSv			
前回の特殊健康診断後に受けた線量	実効線量	等 価 線 量		
		皮 膚	眼の水晶体	女子腹部
	<input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> mSv	<input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> mSv	<input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> mSv	<input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> mSv
被ばく歴がある場合記入	被ばく歴の調査及びその評価(作業の場所、内容及び期間、線量、放射線障害の有無、その他放射線による被ばくに関する事項)			
当該年度の被ばく予測：実効線量が5mSvを超えるおそれが <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある				
上記のとおりであることを認めます。 平成 年 月 日    放射線取扱主任者 _____ 印				

★保健管理室長記入欄：以下の項目は保健管理室長が記入します。

<健康診断の結果及びそれに基づいて講じた措置>

問診項目の結果より、今回の特殊健康診断については以下のように判定する。			
・血液検査	<input type="checkbox"/> 必要である	・	<input type="checkbox"/> 必要でない
・皮膚検査	<input type="checkbox"/> 必要である	・	<input type="checkbox"/> 必要でない
・眼の検査	<input type="checkbox"/> 必要である	・	<input type="checkbox"/> 必要でない
※ 検査が必要であると判断された者に関しては、後日検査通知書を送付します。			
平成 年 月 日    保健管理室長 _____ 印			

放射線業務従事者は安衛則第45条により、特定業務従事者にも該当するため、上記の検査以外にも定期健康診断を受診することが定められています。検査時期になりましたら通知しますので、必ず受診してください。

## 4. 健康相談と応急処置（学生・職員）

健康相談および応急処置は、身体、精神の2部門に分かれて実施している。精神部門の活動については、次の精神衛生業務で述べ、ここでは、身体健康相談およびその応急処置について記述する。

学生・職員別に、分野別・処置内容別に、月次推移で表に示した。また、東山キャンパスの保健管理室・全学教育棟の保健室および鶴舞キャンパスの保健管理室分室で応急処置を含めた保健業務を行っている。大幸キャンパスの保健管理室大幸分室では応急処置を行っている。

健康相談担当医日割表

	月	火	水	木	金
午前	小池 晃彦	押田 芳治	山本 明子	石黒 洋	岩間 信太郎
午後	小池 晃彦	石黒 洋	山本 明子	岩間 信太郎	岩間 信太郎

保健管理室分室（鶴舞）：適宜対応

〔学生、月別〕平成28年度 保健管理室利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
健 康 相 談	内 科	10	30	25	35	17	18	42	34	37	29	15	9	301	
	外 科	1	1	2	3	1	0	0	1	2	0	0	1	12	
	整 形 外 科	2	2	6	2	5	4	5	4	2	2	1	3	38	
	皮 膚 科	0	4	4	1	2	0	8	4	2	4	2	3	34	
	眼 科	0	1	0	0	1	2	0	0	3	0	0	0	7	
	耳 鼻 科	1	2	2	0	0	2	0	1	1	1	0	2	12	
	婦 人 科	0	2	1	1	1	1	1	4	1	0	1	0	13	
	脳 神 経 外 科	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
	歯 科 ・ 口 腔 外 科	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4
	泌 尿 器 科	0	0	2	2	0	2	1	4	1	0	0	0	0	12
	そ の 他	1	2	0	1	0	2	0	4	1	0	1	1	1	13
	計	15	44	44	46	27	32	58	57	50	36	20	20	449	
与 薬	23	33	39	51	38	32	56	61	69	44	35	22	503		
医 療 機 関 へ の 紹 介	2	2	4	10	4	1	7	5	1	1	1	1	39		
診 断 書	0	2	8	8	4	2	2	2	0	3	1	1	33		
検 査	血 液	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4	
	尿	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	
	心 電 図	0	4	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	9	
	X - P	0	1	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0	6	
	血 圧	0	2	2	2	0	2	2	6	4	1	1	0	22	
	体 重 ・ 体 脂 肪	7	8	40	35	104	77	15	24	25	14	25	11	385	
	視 力 ・ 色 覚	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	
	聴 力 (オージオメーター)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	そ の 他	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	2	5	
計	7	16	47	39	105	80	19	32	34	17	27	13	436		
処 置	創 傷 処 置	9	8	14	7	6	5	12	12	12	7	3	3	98	
	湿 布	3	6	5	2	0	2	5	4	6	2	2	3	40	
	そ の 他	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	4	
計	12	14	19	10	6	7	17	17	19	9	6	6	142		
窓 口 相 談	249	181	79	73	35	41	168	69	30	72	39	35	1,071		
休 養 室	1	9	3	6	2	2	2	3	1	1	1	0	31		
実 験 用 採 血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
定 期 外 健 康 診 断	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
留 学 生 利 用 数	31	53	43	45	25	42	81	69	53	42	23	29	536		

〔学生、月別〕平成28年度 保健室（全学教育棟）利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
窓 口 相 談	身 体 的 相 談 (内 科)	6	17	8	12	1	0	14	14	6	12	2	1	93
	身 体 的 相 談 (外 科)	1	3	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	7
	身 体 的 相 談 (そ の 他)	1	4	12	3	1	1	2	3	3	0	3	0	33
	メ ン タ ル 的 相 談	0	1	0	4	0	0	3	4	2	2	0	1	17
	計	8	25	21	19	2	1	19	22	12	14	5	2	150
検 査	血 圧	3	5	5	3	0	0	4	6	0	2	0	1	29
	身 長 ・ 体 重 ・ 体 組 成	239	288	186	272	70	29	242	270	209	82	62	59	2,008
	視 力	4	1	2	4	0	1	0	7	3	1	2	0	25
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	246	294	193	279	70	30	246	283	212	85	64	60	2,062	
処 置	創 傷 処 置	14	19	18	20	0	0	3	10	11	9	6	0	110
	湿 布	5	10	4	7	1	1	4	4	3	5	3	1	48
	そ の 他	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	計	19	30	23	27	1	1	7	14	14	14	9	1	160
休 養 室	7	6	8	12	0	1	15	16	2	3	1	0	71	
病 場	正 課 中	4	6	7	6	0	0	5	2	3	3	2	0	38
	課 外 活 動 中	3	13	7	1	0	0	1	2	8	1	2	1	39
	留 学 生 利 用 数	13	24	21	29	0	3	20	58	35	11	7	4	225

〔職員、月別〕平成28年度 保健管理室利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
健 康 相 談	内 科	3	9	18	12	8	12	9	10	13	3	11	5	113
	外 科	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	整 形 外 科	1	1	0	0	2	3	0	0	1	1	0	0	9
	皮 膚 科	0	0	3	0	1	3	0	1	0	0	0	0	8
	眼 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	耳 鼻 科	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	婦 人 科	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
	脳 神 経 外 科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	歯 科 ・ 口 腔 外 科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	泌 尿 器 科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	そ の 他	1	0	2	1	0	0	1	0	2	0	1	0	8
	計	5	10	26	16	12	21	10	11	16	5	13	5	150
与 薬	5	13	20	13	7	5	16	14	15	9	14	15	146	
医 療 機 関 へ の 紹 介	0	0	7	0	3	4	0	0	2	0	0	0	16	
診 断 書	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	
採 用 時 健 康 診 断 書	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
検 査	血 液	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心 電 図	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	X - P	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	血 圧	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	体 重 ・ 体 脂 肪	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	2	0	8
	視 力 ・ 色 覚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	聴 力 (オージオメーター)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
そ の 他	0	0	0	3	0	4	4	3	2	3	5	0	24	
計	0	1	1	6	5	4	4	3	2	3	7	0	36	
処 置	創 傷 処 置	2	1	5	4	8	2	0	1	0	1	2	2	28
	湿 布	1	0	1	0	2	0	2	1	0	0	1	2	10
	そ の 他	2	1	0	0	0	1	0	0	4	1	0	0	9
計	5	2	6	4	10	2	3	2	0	5	4	4	47	
窓 口 相 談	24	19	23	35	32	34	44	27	24	18	24	13	317	
休 養 室	0	2	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	6	
安 全 衛 生 関 連 の 指 導	2	3	5	7	3	8	4	2	3	2	1	8	48	
定 期 外 健 康 診 断	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	

〔職員、月別〕平成28年度 保健室（全学教育棟）利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
窓 口 相 談	身体的相談（内科）	0	1	0	0	0	0	1	1	4	0	2	0	9
	身体的相談（外科）	1	0	0	1	2	0	1	0	1	0	1	0	7
	身体的相談（その他）	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
	メンタル的相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
計	1	1	0	1	2	0	3	2	5	0	4	0	19	
検 査	血 圧	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	3
	身長・体重・体組成	0	3	2	1	1	0	6	2	2	0	4	2	23
	視 力	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	2	0	7
計	0	3	2	2	1	0	7	3	7	0	7	2	34	
処 置	創 傷 処 置	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	4
	湿 布	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	0	5
計	1	0	0	1	2	0	2	1	3	0	2	0	12	
休 養	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	

〔学生，月別〕平成28年度 保健管理室鶴舞分室・保健管理室大幸分室利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
健康相談	内科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	整形外科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
	その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	計	0	1	0	0	0	1	1	0	0	2	0	1	6
医療機関への紹介	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	4
医診	断	書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査	血圧	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	4
	身長・体重	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	4
	計	0	0	1	0	0	2	1	0	1	0	2	1	8
処置	創傷処置	1	1	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	7
	湿布	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	6
	その他	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	計	1	1	1	2	0	1	3	2	1	2	1	0	15
窓口相談	3	4	7	0	1	2	5	1	2	4	2	1	32	
休養	1	1	9	3	6	2	2	0	1	0	1	1	27	
分室利用（採血、ワクチン等）	0	121	105	110	0	0	112	0	0	100	97	0	645	
留学生利用数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	3	
大幸地区利用	1	2	6	1	1	0	2	2	7	1	0	0	23	

〔職員，月別〕平成28年度 保健管理室鶴舞分室・保健管理室大幸分室利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
健康相談	内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療機関への紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医診	断	書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査	血圧	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	4
	身長・体重	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
	計	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	6	0	8
処置	創傷処置	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	4
	湿布	0	0	0	0	2	2	1	0	1	0	1	0	7
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	1	3	2	1	0	1	1	1	0	11
窓口相談	0	2	2	1	0	3	3	3	1	0	3	1	19	
休養	0	0	0	2	10	9	9	14	8	7	11	7	77	
分室利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大幸地区利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 5. 精神健康（メンタルヘルス）相談業務

メンタルヘルス相談としては、大きくわけて、学生と職員に対するものがある。学生については、最近留学生の増加とともに相談も増えている。また家族や指導教員による学生に関する相談も多くなっている。職員については、非常勤職員の相談が増えてきているが、これは身分の不安定さのためであると思われる。

来談者数、延面接回数は表の通りである。大学院生と教職員の相談が最近増加傾向にあることも注目すべきである。都合がつかず他の機関を紹介した例も多数ある。家族や指導教員による学生に関する相談も多くなっている。精神科医3名である。それに加えて、国際教育センターの精神科医が留学生や外国人教員の治療を一部と、10月より学生相談部門として精神科医1名追加し保健室横に相談室を構え、保健管理室と連携しながら当室での面談対応もしている。

近年の傾向としては、引きこもりのケースが増えている。本人かもしくは家族が受診している引きこもりは、70ケースほどあるが、未受診のものも含めると全学生で200名ほどの引きこもりがいると推定される。対応しない場合、ほとんどがそのまま退学となってしまう。

もう一つ重要な問題は自殺である。学生と職員を合わせて年間に3名ほどの自殺者が出ている。一名の自殺に対して300名の予備軍がいると言うわれている。自殺防止のセミナーや啓蒙活動を行っている。

精神科産業医としての業務について述べておく。精神科に関連した疾患で長期に休職している職員が常時20名ほどいるので、定期的に休職の状況をフォローし、的確な治療をアレンジしている。復職に対しては、細やかにフォローすることで復職がスムーズに行えるよう対応している。

また、産業医の業務として、名古屋大学ハラスメントセンターからのリファラーの仕事がある。それは、ハラスメントによってうつ病など精神的な被害に被っている職員の診察を行い、職場に対して人間的なアドバイスを行うことでハラスメント状況の改善に寄与している。あるいは、逆に不本意ながらハラスメントで訴えられた教職員の心理的ストレスは非常なものであり、そういうケースに対しても心理的サポートを行っている。

現在、職員に関して週に一回臨床心理士の応援も得て相談業務を行っている。

平成28年度 新患内訳

	統合失調症	妄想性障害	急性精神病	双極性感情障害	抑うつ状態	その他の気分障害	対人恐怖症	その他の恐怖症	不安神経症	強迫性神経症	適応障害	解離障害	心気症	離人神経症	摂食障害	睡眠障害	人格障害	アパシー症候群	その他	計
1年					1		1		1		2							2	7	14
2年					1		1	1	1					1			1	3	5	14
3年					1						4	1		1				2	10	19
4年					6						3		1			1		4	14	29
6年	1																			1
大学院	1				11						9					3	1	4	22	51
その他	1				3						13		1				1		35	54
総計	3	0	0	0	23	0	2	1	2	0	31	1	2	2	0	4	3	15	93	182
	2	0	0	0	20	0	2	1	2	0	18	1	1	2	0	4	2	15	58	128

※「その他」は職員、研究生・研究員・科目履修生・卒業生・法科大学院・学年が不明な者を含む

※「大学院」は大学院留学生・M・D・OD・PDを含む

※「計」の中で職員を含む項目においては下段に学生数のみの人数を示してある。

平成28年度 受診者総数（学部別）

文	教育	法	経済	情文	理	医	工	農	独立研究科	その他	計
10	5	6	10	4	17	8	44	11	13	54	182

※独立研究科は、国際開発研究科・国際言語文化研究科・環境学研究科・多元数理科学研究科・情報科学研究科・法科大学院を含む

※「その他」は職員を含む

平成28年度 月別受診者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
74	122	102	102	108	121	115	125	116	126	121	144	1,376
46	87	74	73	76	87	82	94	85	89	93	105	991

※「計」の中で下段に学生数のみの人数を示してある。

平成28年度 月別面接回数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
116	207	146	165	158	194	186	217	184	209	200	225	2,207
57	143	93	121	106	117	130	164	130	137	144	166	1,508

※「計」の中で下段に学生数のみの人数を示してある。

## 6. 運動実施の為のメディカルチェック

大学公認課外活動で試合出場等に診断書が必要な場合、メディカルチェックを行い、発行している。チェックの項目としては、必要に応じ、問診、血圧、脈拍、および心電図など行っている。

またライフル射撃部については、精神科医が申請のため予約診察を実施している。

メディカルチェックは定期健康診断の結果を参考としているため、定期健康診断未受診者には行っていない。

## 7. 感染症検査

入学時（学部1年生）に感染症に関する既往および予防接種歴の調査を行っている。

特に医学部（医学科および保健学科）1年生を対象に感染症（麻疹・風疹・水痘・ムンプス）のワクチン接種の確認をしている。

医学部医学科生の病院実習前に、B型肝炎ワクチンの接種および接種前後に抗原・抗体・肝機能検査を実施している。



## 8. 平成28年度産業医名簿

事業場	産 業 医
東 山 地 区	総合保健体育科学センター 教 授                      小 川 豊 昭 教 授                      石 黒        洋 教 授                      小 池 晃 彦 准 教 授                    山 本 明 子 准 教 授                    古 橋 忠 晃 講 師                      岩 間 信 太 郎 情報科学研究科 教 授                      宮 尾        克
鶴 舞 地 区 医 学 部	医学系研究科 教 授                      岩 井 建 志
鶴 舞 地 区 病 院	総合診療科 講 師                      佐 藤 寿 一 非常勤産業医              若 松 亜 矢
大 幸 地 区	保健学科 教 授                      永 田 浩 三



# 保 健 体 育 の 事 業



## 1. 「健康への道」の発行

教職員・学生の健康やスポーツ活動に対する理解と関心を高め、運動施設の利用の促進や便宜をはかる目的で年間3回発行されている。平成28年度は、122号、123号、124号を発行した。主な記事の表題、担当執筆者は以下の通りである。

	発行日	主な記事	執筆者
122	2016. 7. 22	運動と栄養補給 不眠を生活リズムから考える どこをトレーニングする？ スポーツ選手の怪我の心理	押田芳治 長島渉 片山敬章 竹之内隆志
123	2016. 12. 5	競争・共創・競創 「二日酔い」 糖尿病治療薬の大変革 「ラムネのお風呂」	山本裕二 石黒洋 楠正隆 水野貴正
124	2017. 3. 30	「わたしの樹」を探して アキレス腱断裂 主食+主菜+野菜+ごそごそ 「不運について」	佐々木康 石田浩司 夏目有紀枝 小川豊昭

## 2. 総合保健体育科学センター主管の行事

平成28年度 スポーツ公開講座および施設開放実施状況

学内向け

名 称	対 象	募集 人数	受講 人数	担当責任者	回数	実 施 時 期	場 所
運動プログラム	教職員	200	196	田 中 憲 子	10回	H28. 9. 12～ H29. 1. 30	新体育館 第2体育館 第5体育館
室内プール夜間開放	学生 院生 教職員	—	—	片 山 敬 章	65回	H28. 4. 4～7. 21 H28. 10. 3～12. 22 H29. 1. 12～1. 26 H29. 3. 2～3. 30 (月・木曜日の16:30 ～19:00。ただし、祝 日、冬期休業期間を除 く)	屋内プール
夏期休業中室内プ ール開放	学生 院生 教職員	—	—	片 山 敬 章	27回	H28. 8. 1～8. 31 (月～金曜日の12:00 ～18:00、土曜日の 12:00～17:00)	屋内プール
テニスコート夜間開 放	学生 院生 教職員	—	—	片 山 敬 章	58回	授業期間中の月・木曜 日。祝日、夏・冬期休 業・試験期間中を除く	テニスコート

## 「健康・スポーツ科学」の授業





# 「健康・スポーツ科学」の授業について

## 1. ねらいと授業科目

名古屋大学はその学術憲章のなかで、国内外に関わらず人的交流を支える文化理解、人間性の尊重を共有する構成員の育成をねらいとすることを謳っている。卒業後の社会で自ら行動力を以ってリーダーシップを発揮することが求められる名古屋大学の学生にとって、その基盤となる体力と良好な健康状態を生涯にわたり維持することは極めて重要である。

このような状況を鑑み、旧来の基本主題科目「生涯健康とスポーツ」は、平成15年度より全学基礎科目「健康・スポーツ科学」へと名称及び内容が改められ、以下の知識・能力を身につけた人材の育成をねらいとしている。

- 1) 健康・体力の維持増進に必要な正しい知識
- 2) 運動・スポーツの健康・体力の維持増進に対する有効性の理解と、その生涯にわたる実践能力
- 3) 運動・スポーツの実践によって生活を充実させる方法の体得
- 4) 運動・スポーツの実践を通じて、人間関係を構築する基礎となるコミュニケーション・スキルの体得
- 5) 社会環境の変化やストレスに対して柔軟かつ主体的に行動できる能力

## 2. 授業形態

「健康・スポーツ科学」は主に健康や運動に関する知識の修得を目的とする「講義」と、実践に関する知識や行動能力を身につけるための「実習」で構成される。「講義」と「実習」は互いに独立したものではなく、上記の教育目標を達成するために互いに密接な関係を持つ授業内容となっており、理論と実践の有機的な結合が図られている。

[授業内容]

- 1) 健康と運動・スポーツに関する最先端の科学的知識の修得（講義）
- 2) 生涯にわたる運動習慣を身につけさせるための基礎的能力である体力、運動能力、スキルなどの育成（実習）
- 3) スポーツにおいて自らが主体的、積極的に身体運動に取り組むことによって、科学的知識と論理的思考に基づいた知的な身体運動能力や実践的問題解決行動能力の育成（講義・実習）
- 4) スポーツを通して、チーム・組織における人間関係づくりの基礎を修得（講義・実習）

平成15年度より、これまでの基本主題科目「生涯健康とスポーツ」における「講義及び実習」と「実技」が全学基礎科目「健康・スポーツ科学」における「講義」と「実習」に改められ、講義は2単位、実習は1単位となった。取得すべき単位については、法学部と工学部を除く全ての学部で講義2単位、実習2単位の計4単位が必修である。法学部は選択制で卒業単位となり、工学部は「講義」または「実習」のいずれかで計2単位が必修である。

### 3. 「講義」について

#### 1) 時間割編成

平成16年度より各学部ともⅠ期に開講している。学生の授業科目の選択は学生が事前登録を行い、それをもとに電算機上で振り分けた。平成23年度から、10月入学のG30（国際プログラム群）新入生を対象に、秋学期（10月～翌3月）に英語使用の講義授業1コマを開講しており、平成28年度も引き続き同様に1コマ開講した。

#### 2) 開講コマ数

平成28年度の「健康・スポーツ科学」の講義は、16名の専任教員が担当し、1年間に21コマ開講した（G30分を含む）。

#### 3) ティーチング・アシスタントについて

平成28年度は、ティーチング・アシスタントを3コマに1名ずつ採用した。また、G30分については別枠で1名をつけた。

### 4. 「実習」について

#### 1) 時間割編成

平成28年度は、表1と表2の時間割のように各学部ともⅠ期とⅡ期に実習が開講された。開講オビ数は前期9、後期9となり、コマ数は前期60（G30分1コマ含む）、後期59（G30との合同授業1コマ及び集中開講のスキー4コマを含む）となった。

前期は7月後半まで実習が行われ、特に屋外種目においては過酷な暑熱下での実習が行われることもあった。しかし、実習を担当する教員の配慮等により、重篤な事態は発生しなかった。

#### 2) 開講コマ数

平成28年度は専任教員（9名）、非常勤講師（13名）が担当し、1年間に119コマ（G30関係分含む）を開講した。

#### 3) 開講科目

健康・スポーツ科学実習は、テニス、サッカー、ソフトボール、卓球、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、ゴルフ、ラケットスポーツ、スキー、フィットネス、スイミング、太極拳、エアロビクス、アルティメットの15種目を開講した。以上に加えてアダプテッド・スポーツが開講され、合計16種目が開講された。

各種目の授業内容はシラバスに詳しく述べられているが、ここでは本学の特色である集中講義による学外の授業科目（スキー）、さらに健康運動のための授業科目（フィットネス・エアロビクス等）、アダプテッド・スポーツの授業内容についてふれる。

#### ・ 学外で実施する授業科目

スキーなどの野外スポーツは、生涯にわたるスポーツ活動をする上で、近年大きな比重を占めるようになってきている。本学では、スキーの体験や基礎技術の修得を通じて生涯スポーツへの理解と実践力を高め、自らの健康・体力づくりへの動機を促している。スキーは例年同様受講生に人気があった。

- 健康運動のための授業科目

この科目群は、受講者の体力レベルに応じた効果的なプログラムの実施と、さらに受講者自らがプログラムを組み立てる能力を養成することが目的である。「フィットネス」、「スイミング」、「太極拳」、「エアロビクス」「トレーニング」が開講されている。「スイミング」は、学内温水プールを利用するため年間を通じて開講されている。

- アダプテッド・スポーツ

外傷や疾病により通常の実習の履修が困難な学生を対象に「アダプテッド・スポーツ」を開講している。保健科学部教員（医師）と体育科学部教員が協力し、個々の症状に応じたトレーニングや軽いスポーツを設定し、積極的で充実した学生生活を送るためのバックアップを行っている。

#### 4) ティーチング・アシスタントの活用

平成28年度は、前期4コマに1名ずつ、さらにスキーに4名のティーチング・アシスタントを採用した。これとは別に、G30関係授業（前期1コマ、後期1コマ）に各1名採用した。これらのティーチング・アシスタントは、授業の準備にとどまらず、実際の指導において有意義な教育効果をもたらした。授業内容によっては、今後さらに多くのティーチング・アシスタントを活用する方向で検討すべきである。

### 5. 「実習」の非常勤講師（五十音順）

安 藤 良 介

内 田 博 昭（株式会社ファミリ）

桶 野 留 美

金 謙 樹（特殊スポーツ研究所）

柴 田 優 子

島 典 広（東海学園大学）

下 村 典 子

水 藤 弘 吏（愛知学院大学）

張 成 忠（有限会社桜華）

湯 海 鵬（愛知県立大学）

野 中 壽 子（名古屋市立大学）

山 田 耕 司（NPO法人卓球交流会）

吉 澤 洋 二（名古屋経済大学）

2016年度 「健康・スポーツ科学」 時間割 (前期)

曜日	月		火		水		木		金	
	実習担当	実習場所	実習種目							
1限										講義7 理医保農情(白)
8:45   10:15										小池 古橋 秋間 石田 竹之内 水野 片山
2限	実習7 医農	実習5 経	実習7 文教情	実習7 工I、IV	実習7 工II	実習4 工II				実習5 保
10:30   12:00	山本 蛭田 秋間 横山 ・柴田 ・下村 ・山田 石田/石黒	秋間 蛭田 横山 ・下村 ・湯山本/小池	竹之内 片山 石田 ・金謙 ・桶野 ・水藤 ・安藤 横山/石黒	田中 片山 山本 横山 ・桶野 ・水藤 ・安藤 水野/小池	田中 片山 山本 横山 ・桶野 ・水藤 ・安藤 水野/小池	田中 片山 山本 横山 ・桶野 ・水藤 ・安藤 水野/小池	新ア 陸 テニ 第 第 第 野 球 場	新ア 陸 テニ 第 第 第 野 球 場	バレー ボール アル ティ メ ット テニ ス 卓 球 エア ロ ビ ク ス バド ミ ン ト ン ソフ ト ボ ール アダ ブ テ ッ ド	バレー ボール アル ティ メ ット テニ ス 卓 球 エア ロ ビ ク ス バド ミ ン ト ン ソフ ト ボ ール アダ ブ テ ッ ド
3限	講義7 工学部	講義6 文教経法情(社)	講義7 工I、IV	講義7 工I、IV	講義7 工II	講義4 工II				実習3 法
13:00   14:30	石黒 山本(明) 山本 石田 蛭田 田中 横山	小川 小池 山本(明) 秋間 山本 蛭田	田中 片山 山本 横山 ・桶野 ・水藤 ・安藤 水野/小池	田中 片山 山本 横山 ・桶野 ・水藤 ・安藤 水野/小池	田中 片山 山本 横山 ・桶野 ・水藤 ・安藤 水野/小池	田中 片山 山本 横山 ・桶野 ・水藤 ・安藤 水野/小池	新ア 陸 テニ 第 第 第 野 球 場	新ア 陸 テニ 第 第 第 野 球 場	バレー ボール アル ティ メ ット テニ ス 卓 球 エア ロ ビ ク ス バド ミ ン ト ン ソフ ト ボ ール アダ ブ テ ッ ド	バレー ボール アル ティ メ ット テニ ス 卓 球 エア ロ ビ ク ス バド ミ ン ト ン ソフ ト ボ ール アダ ブ テ ッ ド
4限	実習5 工III、V		実習5 工III、V	実習5 工III、V	実習5 工III、V	実習5 工III、V				
14:45   16:15	石田 片山 田中 ・内田 ・山田 蛭田/石黒		竹之内 水野	竹之内 水野	竹之内 水野	竹之内 水野	新ア 陸 テニ 第 第 第 野 球 場	新ア 陸 テニ 第 第 第 野 球 場	バレー ボール アル ティ メ ット テニ ス 卓 球 アダ ブ テ ッ ド	バレー ボール アル ティ メ ット テニ ス 卓 球 アダ ブ テ ッ ド

実習については、左から担当教員(・付は非常勤講師)、実施場所、種目の順に表示。斜字はG30関係の授業。

2016年度 「健康・スポーツ科学」 時間割 (後期)

曜日	月		火	水	木	金
	実習担当	実習場所				
1限	実習5 経		実習5 経			
8:45   10:15	山本 蛭田 竹之内 横山 ・柴田 水野/押田		第一 第二 新ア 陸上 テニス アダブテッド			
2限	実習6 医農		実習6 文教情			講義1 G30 石黒
10:30   12:00	片山 ・下村 ・内田 ・柴田 ・張 ・山田 石田/石黒	上 陸 新 新 テ 第 第	石田 横山 ・桶野 ・金謙 ・水藤 ・安藤 竹之内/石黒	テニス ソフトボール フィットネス 卓球 バドミントン ゴルフ アダブテッド		
3限	実習6 理		実習5 工Ⅲ、Ⅴ			実習5 保
13:00   14:30	石田 秋間 ・内田 ・張 ・下村 ・山田 山本/小池	第一 陸上 新 新 新 第 第	田中 山本 ・桶野 ・水藤 ・安藤 秋間/小池	テニス ソフトボール フィットネス 卓球 アダブテッド	ラケット フィットネス 卓球 ソフトボール バスケット アダブテッド	
4限	実習6 工Ⅰ、Ⅳ		実習4 工Ⅱ	AD		
14:45   16:15	秋間 石田 ・内田 ・張 ・山田 片山 横山/石黒	上 陸 野 新 第 第 第	水野 蛭田 石田 ・島 田中/山本(明)	竹之内 水野	アダブテッド アダブテッド	

集中：スキー  
秋間 片山 ・水藤  
・桶野 水野

実習については、左から担当教員(・付は非常勤講師)、実施場所、種目の順に表示。斜字はG30関係の授業。



そ の 他





## 庶務関係事項

### 1) 人事異動 (平成 28. 4. 1 ~ 29. 3. 31)

異動年月日	異動後の役職	氏名	異動内容	異動前の役職	備考
平成28年4月1日	講師	岩間 信太郎	配置換		
平成28年4月1日	事務職員 (室長)	高木 智明	配置換		医学系研究科より
平成28年4月1日	事務補佐員	野田 茉弥	採用		
平成28年4月1日	事務補佐員	内海 友香	採用		
平成28年6月1日	看護師 (パートタイム)	刑部 由希恵	採用		
平成28年8月1日	非常勤研究員	谷口 いつか	採用		
平成28年8月31日	非常勤研究員	小澤 祐加	退職		
平成28年11月30日	事務職員 (主任)	松岡 由香	配置換		研究所へ
平成28年12月1日	事務職員 (主任)	玉津 知枝	配置換		工学部より
平成29年1月31日	臨時用務員	松島 茂	退職		
平成29年3月1日	臨時用務員	松田 元光	採用		
平成29年3月31日	事務職員 (室長)	高木 智明	配置換		環境学研究科へ
平成29年3月31日	臨時用務員	今井 宏忠	退職		
平成29年3月31日	看護師 (パートタイム)	刑部 由希恵	退職		
平成29年3月31日	非常勤研究員	持丸 由香	退職		

平成28年度各種委員会委員名簿（学内）

委員会名等	任 期	保健科学部	体育科学部	備考
総合保健体育科学センター運営委員会	H27.4.1～H29.3.31	押田、石黒	竹之内、秋間	
図書館商議員会	H27.4.1～H29.3.31		山本	准教授以上
原子力委員会	H27.4.1～H29.3.31	石黒		
安全保障委員会	H27.4.1～H29.3.31	小池		
動物実験委員会	H27.4.1～H29.3.31	小池		
全学計画・評価担当者会議	H27.4.1～H29.3.31		山本	
研究助成委員会	H28.4.1～H30.3.31	石黒		教授
国際交流委員会	H28.4.1～H30.3.31	山本		
国際関係施設委員会	H28.4.1～H30.3.31		蛭田	
全学教育企画委員会	H28.4.1～H30.3.31		竹之内	教授
情報公開・個人情報保護審査委員会	H28.4.1～H30.3.31	岩間		
男女共同参画推進専門委員会	H28.4.1～H30.3.31		田中	
高等研究院会議	H28.4.1～H30.3.31	岩間		
利益相反マネジメント専門委員会	H28.4.1～H30.3.31	小川		
蔵書整備アドバイザー	H26.4.1～H29.3.31	山本	蛭田、横山	3年
心の発達支援研究実践センター運営委員会	H27.4.1～H29.3.31	小川		
バイオセーフティ委員会	H16.4.1～	押田		
災害対策専門委員会	H28.4.1～H30.3.31		蛭田	
国際教育運営委員会	H28.4.1～H30.3.31		竹之内	
教養教育院統括会議	H27.4.1～H29.3.31		竹之内	
教養教育院教務委員会	H27.4.1～H29.3.31		竹之内	
教養教育院健康・スポーツ科学部会	H27.4.1～H29.3.31	石黒、山本	竹之内、蛭田、水野、田中	
教養教育院評価専門委員会	H27.4.1～H29.3.31		竹之内	
教養教育院統括部基盤科学部門及び基盤科学部会	H27.4.1～H29.3.31		竹之内	
ハラスメントの苦情に関する「部局受付窓口担当員」	H27.4.1～H29.3.31	中原		
社会連携推進担当	H28.4.1～H30.3.31		片山	ホームカミングデー
個人情報保護管理者	H21.4.1～	石黒		保健管理室長
情報セキュリティ組織連絡協議会	H27.4.1～H29.3.31		山本	
情報メディア教育システム運営協議会	H28.4.1～H30.3.31		山本	
交通専門委員会			石田	高木

職指定委員会（センター長）

1. 教育研究評議会
2. 部局長会

職指定委員会（保健管理室長）

1. 環境安全衛生推進本部会議・環境安全衛生推進本部打合せ会
2. 安全衛生委員会
3. ハラスメント防止対策委員会
4. 新型インフルエンザ対策委員会
5. 防災推進本部会議
6. 組換えDNA実験安全委員会

指定以外

1. ホームカミングデイ部局代表者		片山	
2. ハラスメント相談センター長	総長の指名	石黒	～H30. 3. 31
3. 学童保育所検討委員会委員		横山	
学生相談総合センター運営委員会	H27. 4. 1～H29. 3. 31	小川	
学生相談総合センター兼任相談員	H27. 4. 1～H29. 3. 31	小川	竹之内
排水管理責任者（保健管理室）	H21. 4. 1～	石黒	
排水管理責任者（センター本館）	H27. 4. 1～H29. 3. 31	石黒	

平成28年度各種委員会委員名簿（センター内）

委員会等名	保健科学部	体育科学部	備考
センター長	押田		
副センター長		秋間	
科学部主任	石黒	秋間	
教務委員会	石黒、山本	◎竹之内、蛭田、水野、田中	
予算委員会	◎小川、小池	竹之内、秋間	
編集委員会	山本、岩間	◎石田、田中	紀要、コロキウム
広報委員会	小池、山本	◎山本、横山	健康への道、年報
図書委員会	古橋、岩間	◎山本、片山	
特昇委員会	小川、古橋	◎山本、石田	
評価・企画委員会	◎小池、石黒、小川	山本、蛭田、田中	
NICE部局運営委員会	小池	◎山本	
ヒトを対象とする研究審査委員会	岩間	◎秋間、片山、水野、横山	
動物実験委員会	◎小池、山本、岩間	秋間、片山	
交通対策委員会	長島	◎石田	
保健管理室スタッフ委員会	◎石黒、古橋		
運動施設委員会		◎秋間、片山、田中、横山	
環境管理担当教員	石黒		
男女共同参画推進検討委員会	山本	◎田中	事務
安全衛生委員会	◎石黒	蛭田	中原・高木

保健管理室長	石黒	
--------	----	--

国立大学法人保健管理施設等協議会	石黒	
全国大学体育連合		山本
教育発達科学研究科担当委員 (☆入試委員)		◎蛭田、☆山本、☆蛭田

◎は、委員長を示す。

保健科学部

医学系研究科国際交流委員会	小池
医学系研究科教育委員会	石黒
医学系研究科修士運営委員会	石田
医学系研究科運営委員会	押田
医学系研究科生命倫理委員会	山本

※健康白書は石黒教授が担当

2) 海外出張及び海外研修旅行 (平成28年4月1日～29年3月31日)

役職	氏名	渡航目的	渡航先及び期間	備考
教授	秋間 広	第63回アメリカスポーツ医学会での研究成果発表とコロンビア大学Dr. Gallagherとの研究打合せ	Hynes Convention Center (マサチューセッツ州・ボストン) 平成28年5月28日～6月8日	
准教授	片山 敬章	テキサス大学およびトロント大学における共同研究の打ち合わせ. 第63回アメリカスポーツ医学会での研究成果発表	テキサス大学 (アメリカ合衆国), トロント大学 (カナダ), ボストンコンベンションセンター (アメリカ合衆国) 平成28年5月25日～6月5日	
准教授	古橋 忠晃	講演・ワークショップ参加・研究打合せ・資料収集・診察のため	L'Universit? de Strasbourg (12, Rue Goethe-67000 Strasbourg, France), RMS Alsace (12, Rue Kuhn 67000 Strasbourg, France) 平成28年5月19日～6月12日	
教授	竹之内隆志	21st Annual Congress of the European College of Sport Science参加及び研究成果発表	Austria Center Vienna (Bruno-Kreisisky-Platz 1 1220 Vienna, Austria) 平成28年7月5日～10日	
教授	石田 浩司	第21回ヨーロッパスポーツ科学学会(ECSS)での研究成果発表	Austria Center Vienna (オーストリア・ウィーン) 平成28年7月6日～7月11日	
教授	楠 正隆	第76回アメリカ糖尿病学会発表	NEW OPLENS ERNEST N.MORIAL CONVENTION CENTER (アメリカ・ニューオリンズ) 平成28年6月10日～6月14日	
教授	楠 正隆	World Congress on Prevention of Diabetes and Its Complications に参加	Georgia World Congress Center (米国アトランタ) 平成28年12月2日～12月5日	
講師	岩間信太郎	Neuroscience 2016(北米神経科学学会)参加及び研究成果発表	San Diego Convention Center 平成28年11月11日～11月16日	
准教授	古橋 忠晃	・ストラスブール大学医学部におけるひきこもり診察 (自宅訪問診療も含む) ・ストラスブール大学心理学部及び人類学部でワークショップに参加 ・イタック (ITHAQUE) にて講演	ストラスブール大学、イタック (ITHAQUE) 平成29年1月25日～2月23日	

## あ と が き

総合保健体育科学センターにおける2016年度（平成28年4月～平成29年3月）の保健管理業務、センター業務、「健康・スポーツ科学」授業についてまとめた「総合保健体育科学センター年報 第39号」をお届けします。

2016年は、スポーツの祭典である夏季オリンピック・パラリンピックがブラジルのリオデジャネイロで開催されました。南米大陸で初めて開催されたオリンピックですが、競技場整備の遅れ、ジカ熱の流行、治安の悪さ、競技場や選手村の環境面でのトラブル、そしてブラジル国内政治の混乱など、オリンピックの開催自体が危ぶまれた大会でした。また、これらの問題のために、日本人選手を含め多数の選手が参加を辞退するという異例の大会でもありました。そのような中、日本選手団は金12個、銀8個、銅21個の合計41個のメダルを獲得し、これは前回ロンドン大会の計38個を上回る過去最多記録（メダル総数ランキング7位）でした。日本チームの活躍で特に話題となったのは、女子レスリングの伊調馨選手の四連覇を含む4階級での金メダル、男子体操団体の3大会ぶり金メダル、バドミントン女子ダブルスの高橋礼華・松友美佐紀組（タカマツペア）の大逆転金メダル、陸上男子4×100mリレーの男子トラック種目初となる銀メダル、そして卓球男子団体初の銀メダルと女子の2大会連続メダル獲得でした。いずれも手に汗握る戦いばかりで、連日、日本中が興奮と感動に包まれました。また、閉会式ではマリオ姿の安倍首相が登場し、2020年東京オリンピックのPR「トーキョーショー」が行われましたが、海外メディアの反応も上々で東京オリンピックへの期待が高まっています。是非、私も東京オリンピックに何らかの形で関わりたいと思っています。

学内の運動施設に目を向けると、2016年は陸上競技場フィールドの人工芝張替えが行われました。ご尽力いただいた大学当局には大変感謝いたします。人工芝を備えたグラウンドを有する国立大学は非常に稀で、このような場所で授業や課外活動が行えることは、大変ありがたいことです。その他にも、名古屋大学には室内温水プール、砂入り人工芝のテニスコート、全天候型トラックと立派な運動施設が多くあります。是非、多くの構成員にこれらの運動施設を有効活用していただきたいのと同時に、今後もこれらの運動施設を維持するために、いかにしてメンテナンスや修繕のための予算を確保していくかが、大きな課題となっています。

なお、研究面の報告は、紀要である「総合保健体育科学」をご覧ください。

（2017.10 広報委員 水野 貴正）

平成29年10月

編集兼発行

名古屋大学  
総合保健体育科学センター

名古屋市千種区不老町

電話 789-3946 (ダイヤルイン)

印刷所

品川プロセス印刷株式会社

名古屋市東区東片端町52番地

電話 931-6741